

2018年度 年 報
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院看護栄養学研究科

自己点検・評価報告書

目 次

1. 教育課程	1
1) 教務委員会	1
2) カリキュラム検討委員会	2
3) 看護学科	3
4) 栄養学科	5
5) 教養教育科	10
6) 看護栄養学研究科	11
2. 学生の受け入れ	13
3. 教員組織	17
4. 研究活動・研究環境	18
5. FD活動等	21
6. 社会貢献	28
7. 国際交流	32
8. 学生生活	33
9. 就職支援	39
10. 図書館	41
11. 情報処理システム	42
12. 施設・設備	43
13. 管理運営	44
14. 財務	45
15. 事務組織	46
16. 自己点検・評価活動	47

1. 教育課程

1) 教育課程の運営

担 当： 教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>〈活動目標〉 看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかる。</p> <p>〈2018年度の重点〉 1. 新しいカリキュラムポリシーのもと教育課程の改善をはかる。 2. 各種の規程・申合せなどを見直し整備する。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかる。</p> <p>本年度も、一年間をとおして、教務に関わる大きなトラブルはなかった。このことから、関係部署間の調整は円滑におこなわれたと評価する。</p> <p>1. 新しいカリキュラムポリシーのもと教育課程の改善をはかる。 昨年度と同様、カリキュラム検討委員会で議論されているカリキュラムポリシー（C P）が策定されることを期待していた。しかしながら、新しいC Pの決定とはならなかった（2019年2月25日現在）。</p> <p>2. 各種の規程・申合せなどを見直し整備する。 本年度は、下記の規程等について整備した。</p> <p>（1） 非常勤講師などの年齢制限に関して 本学園の「臨時教職員等に関する就業規則」における年齢の制限と、本学の「非常勤講師等に関する申合せ」における年齢の制限に食違いがあり、これを「就業規則」に合わせるよう整理した。</p> <p>（2） 履修規程に関して 1) 臨時試験 臨時試験については、すべて教員の裁量とすることで一本化した。 併せて、授業概要などで学生への周知・説明を充分にすることの必要性を確認した。 2) G P A制度 学生が自分の成績を客観的に把握する助けとなるよう導入が決定された。 3) C A P制 G P A制度と連動して、学生の履修が適正になるよう、履修単位数に上限を設けるよう決定した。特に、2年次生以降は、成績低迷者への制限とした。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>引き続き、看護栄養学部の教育を円滑に遂行するため関係部署間の調整をはかる。</p> <p>また、新たに制定したG P A・C A Pなどの制度や、臨時試験の扱いなどについて、混乱のない運用に配慮する。</p> <p>本年度、大学基準協会による認証評価を受けた。大学全体に対する提言や勧告等を整理し、教務委員会として対応すべき部分の有無を検討する。</p>

1. 教育課程

2) 教育課程の運営

担 当： カリキュラム検討委員会

本年度の活動目標	<p>1. 3ポリシーを見直し、新学部カリキュラムを作成する</p> <p>2. 学部入学定員を見直す</p>
活動内容の評価	<p>1. 3つのポリシーを見直し、新学部カリキュラムを作成する</p> <p>学校教育法施行規則の一部改正に伴い、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の策定が義務化されたことを契機に、本委員会ではカトリック大学としての特徴を示す検討を行い、本学の特色として看護・栄養共通科目を置き、キリスト教の人間観に基づく人間理解、キャリアデザイン、多職種連携、国際保健等を明示することとした。さらに大学院へと繋ぐ「統合発展科目群」を置くこととした。</p> <p>本年度はディプロマ・ポリシーについて、7つの能力、4つのレベル、2つの要素をカリキュラム・ルーブリックとして取りまとめた。引き続き、カリキュラム・ポリシー及びカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーを作成中で、さらに、アドミッション・ポリシー及びアセスメント・ポリシーの検討を行い、本年度内の作成完了を目指している。</p> <p>2. 学部入学定員の見直し</p> <p>2017年3月理事会決議に基づき、2020年度から看護学科及び栄養学科の定員を、それぞれ100名を目途に増員すること、栄養学科においては新たなコースの設置を含めて見直しすることについて検討を行い、その検討結果については、次とおり理事会に報告した。</p> <p>【看護学科】（入学定員）96名／（理由）現状の指導体制のもとでは、実習施設確保の困難さ及び学習効果の維持の面から受入れ最大人数は99～100名として対応可能であるが、留年者（2～3名）が出ることを考慮すると、定員としては96名が妥当な線と判断した。</p> <p>【栄養学科】（入学定員）88名／（コース）現行どおり／（理由）現行では入学定員85名と編入学定員5名の90名で対応しており、入学定員90名として受入れ可能であるが、指定規則で定められている1クラス40名の縛りがあるので、その1割増しとして2クラス体制で入学定員88名であれば厚労省からの指摘を回避できるのではないかと判断した。また、新コースの開設には新たに教員の採用が必要となることが見込まれること、3クラス体制に伴い講義室・実習室の調整が困難になること、短大卒の栄養士との差異についてメリットが見出せないことなどから、これまでどおり管理栄養士養成コースのみとすることとした。</p> <p>これに対し、5月の理事会で看護学科105名、栄養学科95名を定員とすることが決定されたが、その後の教授会、教育研究評議会、学園運営連絡会で、両学科長より実習先病院の確保の困難さ、指定規則上の縛り等を根拠に、理事会での再検討が求められた。その結果、2019年1月の理事会において検討の結果、最終的に以下のように決定された。</p> <p>【看護学科】（入学定員）100名</p> <p>【栄養学科】（入学定員）90名</p>
次年度への課題	<p>1. アセスメント・ポリシーに基づき、評価の詳細を検討する。特に、実習評価についてルーブリック評価を導入すべく検討する。</p>

1. 教育課程

3) 看護学科

担当：看護学科

本年度の活動目標	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラム実施：新カリの検討、現行カリの運用、理念教育</p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実：学生支援、国試の支援、要支援学生の対応</p> <p>3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり：教育能力、教員指導体制</p> <p>4. 教育指導体制の充実：PDCAによる推進、協働・連携、学科効率的運営、教員確保</p>
活動内容の評価	<p>1. 建学の精神に基づくカリキュラム実施</p> <p>1) 2020年度の新カリキュラムに向け、本学の特色を活かし教養と連動した看護・栄養の学部全体の3Pを作成し、カリキュラムマップ・ツリー、科目の検討を続けている。今後、教育課程、科目内容、学年配当、実習配置等を完成させ、5月末に申請する。</p> <p>2) 現行カリキュラムの課題は、新カリキュラム検討の際にも議論し、各科目等で改善に向けて工夫している。今年度は修正カリキュラムで2年から3年になった科目(保健医療福祉システム論、家族看護学)、4年から3年になった科目(災害医療援助論、国際医療援助論、文化人類学)があった。4年から3年に移行した選択科目の履修状況は、災害医療援助論については震災の影響を受け履修が増加したが、他は変化が見られなかった。看護過程は年度末会議で議論し、看護の思考過程を強化し、積上げを確認した。</p> <p>3) 理念教育の充実に向けて、修養会はマニュアルを作成して学科で確認した。各学年の特徴を踏まえてテーマを設定し、教員やシスターの講話を含む内容が企画され、実施された。2年、3年は人間形成とキャリアデザインの講義に位置づけているが、4年は講義の位置づけが無いため、49人(参加率57.6%)の参加であった。</p> <p>チャペルアワーは前後期2回を企画し、教員からも参加を呼び掛けているが課題が残る。行事の参加は、イースターやクリスマスのつどいの参加状況が悪く行事の意味を周知する必要がある。体育祭は事例提出前の日程になったため4年の参加が少なかった。</p> <p>2. 主体性を育てる学生支援の充実</p> <p>1) 2018年度卒業生は、前期2名、後期85名、合計87名。就職66名、進学21名である。在籍数に対する休学、退学、留年の3月末の状況は、1年102名(退学2)、2年92名(退学2、休学1、留年1)、3年98名(退学3、休学4、留年2)、4年93名(休学3、その他1、前期卒2)である。3年4年になってからの休学や退学があり、低学年から進路の迷いを持ったまま進級してきた状況が見受けられる。休学・退学者には成績不振の状況もあり、成績不振者に対する学習支援と合わせ、進路の迷いのある学生には、自身の迷いにしっかりと向き合う機会を持たせることが重要と考える。</p> <p>2) 学習支援プロジェクト、学生支援教員が中心となり国家試験に向けての支援を行った。4年の支援教員は、模擬試験の結果を受けて面談し、必要に応じて個別の支援も行った。外部のセミナーを受ける学生もいたが、自主的計画的に自ら学修を進めていけるように、低学年のうちから学生を刺激し支援していく必要がある。国試結果84/87合格率96.6%</p> <p>3) 主体的学習の姿勢は、4学年をとおして十分に育っているとは言えない状況と考える。人間形成とキャリアデザインの科目では、自分で学習や将来に向けてプロジェクトする学習を行っているが、それらを積み上げて自己プロジェクトできていると言い難い。年度末評価で、予習復習に積極的に取り組んだと回答した学生は、1年74%、2年44.3%、3年60.2%で、各科目の授業評価においても全体に低い傾向がある。時間割の過密を避け、時間を確保するとともに予習復習を必要とする課題の提示や自己学習の意欲を高める授業の工夫が必要であり、学修習慣の獲得は全体の課題と考える。</p> <p>学習環境は、工事に伴う変更があったが空間の確保を工夫した。学生の反応を確認し、引き続き環境の整備を行う。学生数の増加により106名が履修する科目があり、追加の机を入れて実施したが、非常に狭く、望ましい学習環境とは言えない状況であった。</p>

	<p>3. 教員の教育能力・研究能力の強化と研究推進の体制づくり</p> <p>1) 教育能力研究能力の研鑽のために、教員は、各々研修、学会等に参加している。学科会議後に伝達講習を行い、領域を超えて学びを共有した。</p> <p>臨地実習指導者研修会は「実習において看護の魅力を伝える一看護実践の意味づけとその効果」のテーマで、精神の山本教授、老年の小澤教授より話題提供があり、その後、グループワークを実施した。話題提供の参加は80名（施設48、指導教員4、教員28）、グループワークの参加は55名（施設32、指導教員0、教員22）であった。学生の傾向や困難学生への関わり、看護とは何かを考えさせること等、今後の学生指導に活かせる学びが得られた。また課題を共有し相互理解を深め、実習指導の方向性を検討できた。</p> <p>2) 学科自己点検委員によるアンケート調査結果（23/32、回収率71.9）。論文投稿6名、学会発表は16名。2018年度科学研究費助成事業の採択は新規2件、継続1件。2019年度科研応募は13件で前年より増加。特別研究費は5件で前年より増加。外部資金は継続1、応募4である。今年度は科研の取組の強化、複数の教授が着任されたことなど、若手への研究指導が行われてきている。</p> <p>博士課程は現在4名が在籍（着任時在籍2名、継続1名、新規1名）している。進学希望が複数あることから、教員の大学院進学研修の取扱内規の人数制限を無くした。</p> <p>4. 教育指導体制の充実</p> <p>1) 各学年のレベル目標の到達度についての評価は学生アンケートにより実施している。</p> <p>教員は学生の授業評価を受けフィードバックするとともに、毎年、年度末評価として担当科目の評価を実施しているが、レベル目標に対する到達度の評価は実施していないため、今後、学年のレベル目標を意識した授業目標の設定と授業評価を行う必要がある。認証評価でも学生の到達度の客観的評価は今後の課題となっている。</p> <p>2) 学内の各委員会からの議題は、必要時、学科に提案され審議している。</p> <p>9月6日の地震発生により、休講（実習の中止）の緊急連絡、補講が必要となった。領域責任者に連絡し各領域の教員、学生に連絡を行ったが、緊急時の連絡体制（実習施設も含む）の必要性が確認された。大学全体の連絡体制の整備と共に学科内の連絡網を作成した。災害時の確実な学生への緊急連絡と安否確認のシステム構築が必要である。</p> <p>3) 学科会議の運営は、17時半終了を目標としたが議題が多く、18時になることもあった。メールによる情報の共有や議題の精選、資料の事前配布等時間短縮の工夫が必要である。有給や代休がとれない状況や高ストレス状況（高ストレス31.4%：他医療福祉系14.5%、教育系12.8%）がある。育児や介護を担う教員も含め働きやすい環境整備が必要である。</p> <p>4) 2018年度教員体制は、33名中32名で始動したが6月に退職があり、欠員分を補充した。4月より募集した1名は次年度採用決定した。退職者の募集をしたが欠員のままである。看護学科の定数は33名で、教員構成は、教授8名、准教授7名、講師6名、助教11名、欠員1名である。職位や年齢構成など将来を見据えた教員配置にしていく必要がある。</p>
次年度への課題	<p>1. 建学の精神に基づき将来を見据え、時代に応じた本学の特徴ある教育課程を申請する。</p> <p>2. 理念教育を浸透するために行事、修養会等の意義の浸透、関連科目の工夫をする。</p> <p>3. 学生が学修習慣を身につけ、自己に向き合い主体的に学修に取り組めるよう支援する。</p> <p>4. 学生の学修成果の測定と可視化による教育の質保証のPDCAサイクル構築を検討する。</p> <p>5. 教員の過重労働、高ストレス状態を改善し、教育と研究に取り組める環境を整備する。</p> <p>6. 学部・大学院の教員体制の構築と質保証体制の構築に向けた計画を立案する。</p>

1. 教育課程

4) 栄養学科

担当：栄養学科

本年度の活動目標	<p>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</p> <p>2. 就職支援対策の充実</p> <p>3. 研究活動及び地域連携の推進</p>
活動内容の評価	<p>1. ①学部カリキュラム検討委員会での検討事項である3つのポリシーの検討を行った。学科カリキュラム会議において、DPにあわせたカリキュラム内容を検討し、CP、APともに完成を目指し進行している。</p> <p>②臨地実習については実習担当教員による実習指導を行い、巡回は学科全体が協力して進めることができた。実習施設との連絡連携については特に問題はなかったが、実習先の確保は益々困難な状況であり、対策が必要である。</p> <p>③国家試験の支援については国試ワーキングが中心で模擬試験実施、支援教員による学生指導、学科教員による試験対策講義を実施した。模擬試験結果は2019年2月模試で、全体的に得点を伸ばした。しかし、得点が伸びない学生については、これまで同様に今後も支援を継続していく。</p> <p>2. 就職支援対策では、学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。学生の就職希望先が多極化しており、就職委員会との連携をさらに深めながら、よりよい就職につながるようサポートした結果74.4%の内定率である(2/15現在)。この内栄養教諭合格者5名、札幌市学校栄養職員合格者2名である。委員会が実施する対策講座への参加率は概ね良好であった。</p> <p>3. ①研究活動の推進の一環として2017年度から学会発表前に学科で発表する機会を設けたが、2018年度は希望がなかった。学科教員の2018年度の学会発表は国内学会12件、国際学会4件、論文は和文1件、英文6件であった。今後も研究活動の推進を図っていきたい。</p> <p>②地域住民への貢献として天使健康栄養クリニック、東区との連携による事業等その他、TV、新聞等への取材協力を行った。</p>
次年度への課題	<p>1. 臨地実習先の確保のために施設との連携をさらに強化する。</p> <p>2. 成績下位者への支援を行うと共に、学生相談室との連携が必要な学生の場合は、カウンセリングの専門職からの支援を受ける。</p> <p>3. 管理栄養士国家試験について効果的な対策を検討し、合格率100%を目指す。</p> <p>4. 個々の学生に適した就職支援を行い、栄養教諭の受験指導について、継続して支援を行う。</p> <p>5. 教員の研究活動の推進、学会発表の学科内事前発表会の充実を図る。また内部質保証に関連する学習成果の評価を実施する。</p> <p>6. 天使健康栄養クリニックをはじめ、社会・地域貢献の一環として地域連携を積極的に推進する。</p>

1. 教育課程

3) 栄養学科—教職課程

担当：教職課程委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程の再課程認定のための教育内容等の整備と人材確保 2. 外部との連携による栄養教諭養成のための教育の充実 3. 教員採用試験の受験支援の充実 4. 科目等履修生の受入れ 5. 教員免許状更新講習の計画策定と円滑な実施
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程の再課程認定のための教育内容等の整備と人材確保を次のとおり実施した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育内容等の整備 <ol style="list-style-type: none"> ① 教職課程科目の内容が、教職課程コアカリキュラムを踏まえたシラバスとなるよう科目責任者に作成を依頼し、その内容について委員会で点検・確認した。 ② ディプロマ・ポリシーと中教審答申で示された教員の資質能力を踏まえた「教職課程の目標」の徹底を図るため、「教職課程履修の手引」を改定した。 ③ 再課程認定後の教育課程に対応するため、「履修カルテ」を改定した。 2) 人材確保 <ol style="list-style-type: none"> ① 再課程認定が認められるよう、業績・人物ともに優秀な人材を確保した。 * 以上のことや、2019年度入学生用に改定した新教育課程（2017年度決定）が認められ、2019年2月に文部科学省より再課程認定の許可を受けた。 2. 外部との連携による教育の充実を図るため次の実践を行った。 <別紙1参照> <ol style="list-style-type: none"> 1) 北海道大学での農場体験 <ol style="list-style-type: none"> ① 「ベリー類の特性についての学習と収穫体験」（1年次「教職概論」の1回） ② 「田植え・稲刈り・収穫・搾乳体験・調理体験」（正課外、1年次） ③ 「新米官能評価」（正課外、1年次） ④ 「北大生対象新米による調理指導」（正課外、4年次） 2) 小学校でのインターンシップ体験（正課外、札幌市立小学校3校で実施、2年次） 3) サッポロさとらんどでの栄養教育（4年次「教職実践演習」・3年次「教職総合演習」） 4) 小学校授業参観（1年次「教職概論」、札幌市立小学校1校で実施） 5) 中学校授業参観（3年次「教職総合演習」、札幌市立中学校1校で実施） 6) 学校給食センター参観（3年次「教職総合演習」） * 以上については、事後のレポート、アンケート、感想から、学生にとって感動的・有意義な体験であり、その学習効果が高かったことが確認できた。 3. 教員採用試験の受験支援を充実して計画的に実施した。 <別紙1参照> 平成31年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、3・4年次学生対象に外部講師を含めて実施した。結果は現役受験者9名中5名が採用試験に合格した。 * 本学受験者の合格率は56%、合格者全体における本学の占有率は23%であった。 4. 科目等履修生の受入れ 本学の卒業生である2名を受け入れ、実習先を確保するとともに、3科目（計5単位）を認定した。 5. 教員免許状更新講習の計画策定と円滑な実施 <別紙2参照> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文部科学省からの要請を受けて、2017年度1科目の開講科目を2018年度は3

	<p>科目に増加し3日間の実施計画とし円滑に運営したが、受講者総計は15名であった。</p> <p>2) 受講者数を増やすことは本学の経営基盤に貢献できることから、2019年度に向けて、計画作成時期を早めるとともに、周知開始時期を3月に変更した。</p> <p>* 多くの受講者からは、講習内容が概ね良好との評価が寄せられた。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 教職課程の質保証に係る自己点検・評価等の内容を検討して実施する。2. 教員採用試験の合格率を高める指導の充実を図るとともに、面接指導の改善を行う。3. 教員免許状更新講習に係るホームページの工夫や申込方法の簡略化などの改善を行う。

2018年度 教職課程委員会の行事等一覧

<2018.4.20版>

区分名	期日	時間	行事名	対象者など	担当者1	担当者2	備考
北大関係	5月26日(土)	9:30~11:30	田植え	1年次生	新井	松下	
	6月12日(火)	15:10~17:10	搾乳体験	1年次生	新井	松下	
	7月13日(金)	13:10~14:10	収穫体験	1年次生	新井		教職概論受講者
	8月29日(水)	9:30~11:30	収穫体験2	1年次生	新井		
	〃	11:40~14:00	調理実習	1年次生	松下	山部	学内の実習室
	9月22日(土)	9:30~11:30	稲刈り	1年次生	新井	松下	
	11月初~中旬	12:15~13:00	お米の官能検査	1年次生	新井	松下	
	11月10日(土)	10:30~13:30	北大生のお米料理教室	北大4年次生(?)	山部	松下	学内の実習室、4年次生補助 北大への連絡:新井
インターンシップ	8月27日(月)~ 9月7日(金)の うちの1週間	8:30~15:30	学校インターンシップ	2年次生	新井	高山	・4月下旬学校訪問 ・5月初旬:2次調査 ・5月中旬:学校決定 ・6月初旬:依頼文書発送 ・実習中:学校訪問
免許更新講習	8月4日(土)	9:00~17:00	免許更新講習	教諭全般	鹿内	受付等: 委員	事務業務:高山
	8月5日(日)	9:00~17:00	免許更新講習	教諭全般	武蔵・志賀		
	8月7日(火)	9:00~17:00	免許更新講習	栄養教諭	山部		
教員採用対策	4月23日(月)	16:30~18:00	教員採用1次ガイダンス	4年次生	高山	新井	・願書配布・説明 ・東京アカデミーの講話など ・依頼:学務課西村
	5月22日(火)	13:30~15:30	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	5月23日(水)	10:00~12:00	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	5月24日(木)	10:00~12:00	1次直前ゼミ	4年次生	新井		
	6月25日(月)	13:30~14:30	自己採点・教員採用2次ガイダンス	4年次生	新井	松下	・自己採点シート手配・送付: 学務課西村
	7月25日(水)	10:00~16:00	2次直前ゼミ	4年次生	教職課程委員全体 +教養教育科教員		計画の確定は、7月24日の1次合格者発表後
	7月26日(木)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月30日(月)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	7月31日(火)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	8月1日(水)	9:00~17:00	2次直前ゼミ	4年次生			
	12月中旬	未定	教員採用試験ガイダンス	3年次生	新井		・東京アカデミーの講話など ・依頼:学務課西村
	2月初旬~2月中旬の4日間	10:00~12:00	春期ゼミ	3年次生	新井		

※ 教職実践演習・教職総合演習の行事は省略している。

【別紙2】

2018年度教員免許状更新講習 実施状況

■講習1

実施日	2018年8月4日（土）9:15-17:15
講師	鹿内信善 教授、石田ゆき氏（日本医療大学非常勤講師）
受講対象者	小学校、中学校、高等学校教諭
定員	32人（6時間）
受講料	6,000円
講習名	[選択]「みること」をいかして引き出す主体的で対話的な深い学び （アクティブ・ラーニング）
受講者	0人（開講せず）

■講習2

実施日	2018年8月5日（日）9:15-17:15
講師	武蔵 学 教授、志賀一希 准教授
受講対象者	全校種、全教員
定員	60人（6時間）
受講料	6,000円
講習名	[選択]学校で役立つ食物アレルギーの知識とアレルギー対応
受講者	13人

■講習3

実施日	2018年8月7日（火）9:00-17:00
講師	山部秀子 教授
受講対象者	栄養教諭
定員	20人（6時間）
受講料	7,000円
講習名	[選択]北海道の食文化について
受講者	2人

1. 教育課程

5) 教養教育科

担当： 教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<p>I. 初年次教育関連</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育 習熟度別授業を実施し、各学生の英語力にあった指導を行うことで学生一人一人の英語力の増強を図る。 2. 共通基礎科目 高等学校の新しい教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。 3. 専門基礎科目との連携 3ポリシーのもと、効果的な連携を目指す。 <p>II. 学外研修関連 初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</p> <p>III. その他 教養教育科における自己点検評価活動の充実を目指す。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>I. 初年次教育関連</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語教育 G-T E L Pを用いた習熟度別クラス分け、および到達度評価をおこなった。補修授業「英語寺子屋」を実施し、学生の英語力増強の助けとした。 2. 共通基礎科目 生物学および化学について、入学試験の合格者に対して、問題集を配布・回収・採点などの入学前教育・導入教育をおこなった。また、入学後に診断テストをおこない、高等学校の教育課程下における理科科目の定着状況の確認をおこなうとともに、習熟度別クラス分けなど履修指導に活用した。 3. 専門基礎科目との連携 カリキュラム検討委員会における議論の中で、ディプロマポリシーに基づき、専門基礎科目と教養教育科目の連携が整理されつつある。 D P 1に関し、カトリックセンター主催の勉強会に参加した。 <p>II. 学外研修関連 初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集した。本年度は下記の研究会等に参加した。科内で情報を共有し自己点検評価活動の参考とした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東北・北海道地区大学等・高等共通教育研究会（室蘭工業大学，8月） 2. 初年次教育学会（酪農学園大学，9月）… 地震により一部不開催 3. 大学教育研究フォーラム（京都大学，3月） <p>III. その他 科の自己点検評価活動として意見交換会をおこない、教育・研究・その他に関して情報の共有をはかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>本年度、大学基準協会により認証評価を受け、その中で、教育研究組織として教養教育科が独立して運営されていることに「S」評価を受けた。本学の学則でも謳われる「広く豊かな教養教育」を実現するための取組が評価されたと自負する。 今後も、広く豊かな教養教育のため、各種の活動を充実させることが課題である。</p>

1. 教育課程

6) 看護栄養学研究科

担 当： 看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・学部卒業生の進学機会の拡大に向けた大学院体制の検討（教員体制、分野コース拡大） ・看護栄養学研究科としての特色の明確化と教育課程のPDCAサイクルの確立 2. 教育課程 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの効果的運用（共通科目の内容・展開、大学院の時間割運営） ・教務等の委員会や職員体制の検討 3. 大学院生定員確保のための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・入試科目・学費の見直し ・大学院ホームページの見直しと充実、大学院に関する記事の掲載 ・大学院説明会の実施、公開授業、特別講義の実施 ・オープンキャンパスでの大学院のPR、大学院ブースの設置、大学院生の活用 ・学部生への大学院進学に対する意識づけ 4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援 <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科定員の変更に伴う院生学習室の環境整備 ・本学で使用しているWeb会議システム「LiveOn」ASP版を活用した授業・単位認定の試行・検討 ・院生PCソフトのバージョンアップ、院生学習室の備品等の購入 ・職業実践力育成プログラム認定制度の申請検討 5. 教育実践・研究活動 <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科としてのFDの企画・運営 ・看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上 ・両専攻科の協働研究・協働事業の検討
<p>活動内容の評価</p>	<p>2018年度は、看護学専攻修士課程4名（保健師コース2名、ホスピス緩和ケアCNSコース2名）が修士（看護学）、栄養管理学専攻博士前期課程1名が修士（栄養学）を取得した。</p> <p>活動目標に対する評価を次に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 将来構想 <ul style="list-style-type: none"> ・栄養管理学専攻においては来年度に向けてインターンシップ等の単位化を検討することとした。 ・看護学専攻は、修士論文コースとして、母性、小児、老年をまた、老年CNSを増設した。 ・看護栄養学研究科としての特色の明確化と教育課程のPDCAサイクルの確立については進展がなかった。今後も継続して検討を行うこととする。 2. 教育課程 <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの効果的運用については、両専攻の社会人院生に合わせて、共通科目の開講時間を夜間にするなど、調整を行い、円滑な時間割運営を行った。今後も多様な学生に配慮しながら運営を行っていく必要がある。 ・教務等の委員会や職員体制の検討については進展がなかった。今後も継続して検討を行う事とする。 3. 大学院生定員確保のための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・入試科目の見直しについては今後も継続して検討を行う。学費についても本学の経費、競合校との兼ね合いを考え、継続して検討を行う。尚、看護学専攻では、

	<p>授業料について、減額措置を行うことが決議され、実習費は別途徴収すること、徴収では各コースで実習費の算出を行うこととなる。従って、減額の対象や減額内容などの詳細については継続して検討を行う事となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学院ホームページの見直しと充実、大学院に関する記事の掲載については、今後も継続してブラッシュアップを行っていく。 ・栄養管理学専攻では大学院説明会を企画したが参加希望者が無く開催しなかった。今後も魅力ある企画を模索し継続して行いたい。 ・看護学専攻保健師コースでは、オープンキャンパス（6月、8月）で説明会を開催し、6月25名、8月12名の参加があった。 ・大学院のPR、大学院ブースの設置、大学院生の活用は今後も継続して実施する。 ・学部生を対象に大学院進学への意識づけのために説明会を実施した。看護学科4/26 11名（4年）、6/26 6名（3年）、栄養学科7/3 9名（4年4名 3年5名）、10/23 7名（2年5名 1年2名）の参加。 ・2019年度入試結果、看護学専攻は修士課程に保健師コース8名、精神看護学コース2名計10名が合格した。尚、今後3月2日に老年CNSコースの入試を予定している。栄養管理学専攻は博士前期課程に2名が合格した。 <p>4. 大学院生の学習環境・研究活動の充実に向けての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専攻毎に院生室をパーテーションで区切り、集中できる環境を整備した。 ・社会人をサポートする目的で遠隔授業での単位認定を行うために、規定を整備2019年度から運用を開始する。ただし、看護学専攻は運用についての検討を継続する。 ・院生PCのSPSS、エクセル栄養君、BDHQのバージョンアップを行い、院生の学習環境の充実を図ることが出来た。 ・職業実践力育成プログラム認定制度の申請検討については進展がなかった。 <p>5. 教育実践・研究活動：看護栄養学研究科の特色を活かした実践・研究能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護栄養学研究科としてのFD 第1回2/23「看護ケアと現象学的研究」首都大学東京健康福祉学部看護学科 西村ユミ教授の講演は40名（学内教員22名、院生8名、学外10名）の参加があった。第2回は3/8「がんでは死なないがん患者」藤田医科大学医学部外科・緩和医療学講座 東口高志 教授にご講演いただいた。 ・両専攻科の協働研究・協働事業の検討は進展がなかった。今後も継続して検討を行う事とする。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大と共に、学費についても本学の経費、競合校との兼ね合いを考え、継続して検討を行う。 2. 内部質保証システム整備のための実質的な検討として、教育課程のPDCAサイクルを確立する。 3. アドミッションポリシーの専攻毎の検討と策定を早急に行う 学位授与方針に明示した学習成果についての適切な把握および評価について検討する 4. 大学院の教員体制の整備、大学院担当教員の業務軽減のための方策検討

2. 学生の受け入れ

担 当： 入試委員会

本年度の活動目標	<p>1. 各種入学試験について、一層、厳正な実施と円滑な運営に努める。</p> <p>2. アドミッション・ポリシーに相応しい入学者確保に向けた入学試験選抜制度と内容について検討を継続する。</p>
活動内容の評価	<p>1. 入学試験実施に関する評価は以下のとおり。</p> <p>①各種入学試験に関するアンケートを教職員対象に実施し、その結果等をもとに入試委員会で検討し、改善を続けている。</p> <p>②大学入試センター試験では、共同実施校と連携を図りながら準備を進め、円滑に試験を実施した。</p> <p>③昨年度課題とした入試問題ミスの防止について、一般入学試験問題作成のため、第三者機関による事前正答チェック後のアフターサービスを積極的に活用した。</p> <p>④昨年度課題とした「個人面接試験評価項目一覧」および「合否判定基準」の見直しについて、入試委員会で審議し、合否判定基準について改善を行った。</p> <p>⑤昨年度課題としたトラブル対応のマニュアルの充実について、本部要領を一部見直した。</p> <p>⑥合否判定入試委員会について、合否判定のタイトなスケジュールの中で、会議が多いことなどから、次年度以降に行わないことを検討することとした。</p> <p>⑦大学入試センター試験および一般入学試験において、インフルエンザのために監督者の欠席が相次ぎ、予備監督者の設定が課題となった。</p> <p>2. 入学者選抜制度・内容の検討についての評価は以下のとおり。</p> <p>①天使大学 2021 年度入学者選抜おける改正について、行政および他大学の動向などを参考にしながら選抜制度の検討を行った結果、年度内の公表について目途をつけることができた。</p> <p>3. 外国人留学生入学試験について</p> <p>①外国人留学生入学試験についての問い合わせが複数件あり、外国人留学生入学試験要項を見直し、作成した。</p>
次年度への課題	<p>1. 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。そのため、具体的に次年度は以下の点を行う。</p> <p>①推薦入試の実施スケジュールの変更（小論文試験採点者の負担軽減）</p> <p>②合否判定入試委員会の廃止（タイトなスケジュールへの合理的な対応）</p> <p>③不測の事態への対応（予備監督者の充実）</p> <p>2. 天使大学入学者選抜制度改正について</p> <p>①改正内容について受験生等に不安を感じさせないよう、説明リーフレットを作成し、広報委員会と連携をとりながら高校や受験生に情報発信を行う。</p> <p>3. 外国人留学生入学試験について</p> <p>①外国人留学生について大学としての方針も踏まえ、在り方（受け入れの可否や条件等）について検討を行う。</p> <p>4. 内部質保証に向けた取り組み</p> <p>①インターネット出願について、受験生や大学のメリットや導入費用、IR との関連、他大学の動向を含め、2019 年度に調査・研究を行う。</p> <p>②入学後のミスマッチの防止、高大接続、入学後追跡調査の観点から、入学試験データの利用を検討する。2019 年度は、どのようなデータが必要かについて検討を行う。</p>

2. 学生の受け入れ

担当： 広報委員会

本年度の活動目標	<p>1. 入学志願者及び入学者数の安定的確保</p> <p>2. 入学者の学力的質保証</p>
活動内容の評価	<p>1. 入学志願者及び入学者数の安定的確保</p> <p>(1) 本学接触機会の増加を図るための事業</p> <p>6月に公式webサイト（デザイン・内容）のリニューアル及びスマートフォン対応を行った。</p> <p>高校や中学校からの出張講義（11件）、大学説明会（4件）、大学訪問（14件）については、全教職員への協力要請を行いながら、原則的に断らずに対応をした。また、新規事業として高校1・2年生向けに看護三職や管理栄養士の職業紹介を中心にまとめたリーフレット『「看護職」や「管理栄養士」の仕事について』を作成し、3月に本学以外の道内看護系・栄養系大学を志望する約800名に対してダイレクトメールとして送付し、本学進学希望者の掘り起しを計った。</p> <p>(2) 接触者の志願・入学定着をめざすための事業</p> <p>看護栄養学部のオープンキャンパス（以下、OC）を例年どおり3回（7・8月は学科別）実施し、6月には学生による「受験体験発表（推薦・一般入試）」「海外研修体験等発表」などの新規コンテンツを実施した。</p> <p>※OC参加者数（年度計）は、看護学科555名（+1名）、栄養学科323名（-27名）</p> <p>また、2020年4月完成予定の新校舎に関するPRを高校訪問、校内ガイダンス、OCなどでを行い、さらに2020年度大学案内への改訂カリキュラムの掲載準備も進めている。</p> <p>2019年度の入学試験結果として、看護学科が入学志願者523名（+34名）、入学者数96名（入学定員87名）、栄養学科が入学志願者176名（-28名）、入学者数89名（入学定員85名）、学部計が入学志願者699名（+6名）、入学者数185名（入学定員172名）となった。</p> <p>(3) 学部からの継続した大学院広報活動の充実と他大学・社会人への広報活動</p> <p>学部学生向けの大学院説明会（看護栄養学研究科、助産研究科）を各学科全学年で実施したほか、学外者向けの広報活動として看護学専攻保健師コース及び栄養管理学専攻において、専攻（コース）紹介、入試ガイダンス、院生との交流等を企画した本格的なOCを初めて実施した。参加人数は看護学専攻34名（+26名）、栄養管理学専攻0名（±0名）であった。</p> <p>これらの活動を行った結果、看護学専攻では、本学看護学科2019年3月卒業者による保健師コースへの入学志願者数が大幅に増加（+5名）し、さらに、精神看護学コース2名、老年看護CNSコース（新設）1名の社会人の入学志願者数を確保するなど、看護学専攻全体の入学志願者数が13名（+3名）に増加した。</p> <p>栄養管理学専攻博士前期課程についても、社会人を中心に5名（+4名）の入学志願者があった（うち1名は栄養学科2019年3月卒業者）。</p> <p>(4) 天使大学・大学院情報収集及び情報発信システムと管理体制</p> <p>前年度までに整備したシステムにより運用した。</p> <p>(5) 各学科・入試委員会及び各機関との連携強化による広報活動の充実</p> <p>OCの参加状況及び業者による大学入学試験模擬試験の受験状況などから、本学の志願者数を予測し、広報委員会等や学園運営連絡会等で報告した。</p> <p>全教職員に対しては、5月の広報活動勉強会及び11月・1月末の入学試験説明会の機会に志願者数、志願者数増減等の要因分析、志願者数を獲得するためのポイント（詳細は3のとおり）に関する説明を行った。</p>

また、2020年に完成予定である新校舎のPRを強化するために、キャンパス整備委員会及び施工業者と連携をして「天使大学新校舎案内」を作成し、同窓生、学生、高校生・関係者等への配布を行った。

2. 入学者の学力的質保証

OCが進路選択を行うための学習機会の1つであると位置づけ、本学の理念や特色等を正しく伝え、入学後のミスマッチを抑えるために、学科長による学科紹介では、ディプロマポリシー、カリキュラム、他大学との差異・特色、取得可能免許、キャリア（就職・進学）などの解説を丁寧に行った。入試ガイダンスにおいては、アドミッションポリシーについて詳しく解説した。

さらに、7・8月OCでは、保護者説明会を開催し、教員による学生支援と体制、臨地実習、学費、一人暮らしの生活環境情報等を1時間程度にわたり説明をした。

3. 内部質保証のためのPDCAの循環

広報委員会では、次の情報をもとに学生募集に関する分析を行い、課題を抽出して学内に情報発信をしている。看護栄養学部の学生募集に関する中期的課題は次のとおりである。

- ① 新入生アンケートデータ、OCアンケートデータ
- ② 進学相談会等・校内ガイダンス相談者集計
- ③ 業者等外部情報及びデータ（模擬試験等）
- ④ 各種活動報告書（高校訪問、出張講義、進学相談会・進学ガイダンス）
- ⑤ 各種入試統計（ランク別・地域別志願者数・合格者数・入学者数等）

■看護学科

(1) 本学を第1志望とする者が少ない

2018年度新入生アンケート結果において、本学を第1志望とする者が52.0%、国公立大学との併願者が44.0%（一般入試、センター利用入試による入学者の7割程度）であり、国公立大学の滑り止め校と考えている受験者が多い。

(2) 教育課程の魅力度が低い

2018年度新入生アンケートにおける「本学に進学した理由は何ですか」の問いについて、第1位「就職実績が高いから」（15.2%）、第2位「希望の免許等を取得できるから」（11.0%）に比して「教育内容（カリキュラム）がよかったから」が6.2%と低い。

(対策)

国公立大学の併願校としてではなく、本学を第1志望校とする志願者を増加させるためには、国公立大学にはない特色（特にカリキュラム）づくりを行うことが重要であるため、看護学科、カリキュラム検討委員会等との情報共有及び連携を継続する。

■栄養学科

(1) 「管理栄養士の就職難」という社会的イメージが志願者数減少の最大要因

高校生の受験動向として就職に有利な学部・学科系統に目を向ける傾向が強い。その中であって、管理栄養士は「就職率が低い」というイメージが広まり、全国の栄養系学部・学科の志願者数減少の最大の要因と推察できる。なお、進研アド「2019年度入試概要」（2019年2月14日）では、食物・栄養系学科系統の志願者数が対前年度比-5%となっている。

(2) 教育課程の魅力度が低い

2018年度新入生アンケートで「本学に進学した理由は何ですか」との問いについて、第1位「希望の免許等を取得できるから」（17.5%）、第2位「就職実績が高い

	<p>から」(15.5%)に比して、「教育内容(カリキュラム)がよかったから」が2.4%と低い。</p> <p>(3) 管理栄養士の認知度が低い、わかりづらい</p> <p>「高校生(特に低学年)は管理栄養士がどのような職業なのかをよく知らないの で、興味の対象になりづらい」とのコメントを複数の高校教諭からいただいた(高 校訪問報告書等)。</p> <p>(対策)</p> <p>管理栄養士・栄養士としての就職実績の向上のための対策、栄養学科が掲げる 「臨床に強い管理栄養士」を養成するための特色あるカリキュラムの策定、管理栄 養士の職業理解の向上等をめざして、栄養学科、カリキュラム検討委員会、就職委 員会等との情報共有及び連携を継続する。</p>
次年度への課題	<p>年度をとおして次の課題に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入学志願者及び入学者数の安定的確保 2. 入学者の学力的質保証 3. 内部質保証のためのP D C Aの循環

3. 教員組織

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については、教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</p> <p>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員確保に向けた取組を進める。</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教育研究組織としての適切性については、2018年度に実施された大学基準協会による認証評価への対応を通じて検証される機会となった。</p> <p>大学基準協会の評価案（2018年12月）：「6. 教員・教員組織」評定A</p> <p>「大学設置基準等の法令要件を満たし、人事方針に基づき教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編成している」との評価であったが、①求める教員像や学部等の教員組織の編成方針を策定すること、②嘱託教員や特任教員の雇用が多いことに起因して年齢構成に課題が見られるとのご意見をいただいた。</p> <p>一連の大学基準協会からの評価を通じて、本学の人事方針等に関して不十分な点を確認することができた。</p> <p>2. 教員組織について</p> <p>(1) 2018年度人事方針においては、看護栄養学部の教員定数は67名、助産研究科は15名、嘱託教員及び特任教員の数は、それぞれ3割程度とした。</p> <p>看護栄養学部の教員定数67名の内訳は、看護学科33名、栄養学科27名、教養教育科7名である。</p> <p>(2) 教員確保については、人事方針に基づいて看護学科では前年度から大学院教育を担当できる資格を有する教員確保に努めてきた結果、新たに教授5名を採用し2018年度の教員体制は整った。</p> <p>しかし、大学基準協会の意見のとおり「嘱託教員及び特任教員の雇用が多いことに伴う教員年齢の高齢化」については、課題である。</p> <p>3 人事方針の策定に当たっては、学内理事等により次年度人事方針案について検討し、学長名で各学科長、研究科長等に対して人事方針案の意見聴取を行い、学長が人事配置計画を取りまとめ、理事長に報告した。</p> <p>理事長は、これを踏まえて理事会に人事方針案を提案し、決定した。</p> <p>決定された人事方針は各教授会に報告された。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 大学基準協会の意見を参考に、「教育研究組織としての適切性」について、教育の質保証の観点からも大学としての教員組織の編成方針及び求める教員像をより明確にし、人事方針に位置付ける。</p>

4. 研究活動・研究環境

担 当： 学術振興委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を企画する。 2. 紀要第19巻(第1号・第2号)を発刊する。 3. 特別研究費の研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。 4. 研究に関する相談窓口を設け、若手研究者育成のための方策を検討する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費獲得のための講習会を今年度は2回企画した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 初心者向け科研費獲得のための講習会 15名 日時：2018年7月27日(金) 16時30分～17時30分 場所 6101 講義室 講師：学術振興委員、栄養学科准教授：西 隆司先生 2) 中級者向け科研費獲得のための講習会 26名 日時：2018年9月19日(水) 18時10分～19時40分 場所 6101 講義室 講師：副学長、看護学科教授：高木 廣文先生 <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度の科研費新規採択件数は4件(申請16件)、また2019年度申請件数は、20件であった。 ・科研費獲得に関する久留米大学教授 児島将康著『科研費獲得の方法とコツ』の改訂6版を5冊購入し、例年のとおり利用に供した。 2. 紀要は、第19巻の第1号(2件)及び第2号(1件)を発刊した。投稿者が減少していることについては、春休みや夏休み期間を執筆期間として頂けるよう、募集時期を調整し、第19巻より年2回の投稿締切日(申込日)を4月末と10月末に改めた。 第19巻第2号に掲載された報告1件は、2016年度特別研究費によるものである。 3. 特別研究費による研究報告会は、年度末の日程に大きな変更があったが、当初の予定日時で実施可能であることが判明したため、2019年3月14日木曜日に実施した。 また研究報告は、少なくとも紀要に投稿して公表されるよう要請した。 4. 教員の相談体制を強化し、科研費申請のための具体的な対策を検討する。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科研費等競争的外部資金獲得のための講習会を複数回企画する。 2. 紀要第20巻(第1号・第2号)を発刊する。 3. 特別研究費の研究報告会を開催し、発表後の紀要等への投稿を促す。 4. 教員の研究時間の確保と環境整備について具体的な対策を検討する。

4. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 迅速な倫理審査の実施 2. 現行の倫理指針に沿った審査手続きの遂行 3. 研究倫理に関する研修活動および関連する情報提供の実施
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度は全体で27件の研究倫理審査申請があった。各申請に対しては、事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が申請書類等を確認しているが、申請者本人の事前チェックが不十分なものも多く、昨年度同様その対応に相当の時間を要した。よって次年度は、チェックリストの適切な使い方についてさらに周知徹底させる必要があると思われる。 2. 現行の倫理指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた委員会規程に則って、委員会構成員（学外委員の登用）、委員会審議事項への利益相反の明記などを盛り込んだ委員会規程の下で業務を遂行した。 3. 従来同様、年度始めの早い時期に、本学での研究倫理審査申請の手続き等の研修会を実施し、研修会参加者には研修を受けた旨の修了書を発行した。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来通りの迅速な研究倫理審査を実施すること。 2. 国の倫理指針に基づきながら委員会業務を遂行すること。研究倫理に関する研修会の実施や、研究倫理に関する幅広い情報提供の実施。 3. 学術振興委員会等、他の委員会とも連携しながら、関係する情報の共有を図ること。

4. 研究活動・研究環境

担 当： 病原体等安全管理委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天使学園病原体等管理委員会規程（規程）および天使大学病原体等安全管理マニュアル（マニュアル）に従い病原体を安全に管理する。 2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。 3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 規程およびマニュアルに従い病原体を安全に管理した。 2. 2018年5月、酪農学園大学より <i>Campylobacter jejuni</i>、<i>Clostridium perfringens</i>、<i>Vibrio parahaemolyticus</i> の分与を受けた。これらはマニュアルに則り、適切に保管されている。 3. 2019年3月、東京農工大学にサルモネラ属血清型 Schwarzengrund37 株を分与した。 4. 上記2および3については、書面により委員会で審議・了承された。 5. 6月5日付の文部科学省の病原性微生物の保管・管理の徹底および保管状況調査について調査報告書を提出し適切に対応した。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 引き続き病原体を安全に保管・管理する。 2. 病原体等の入手・分与の際には安全性を考慮し対応する。 3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。

5. FD 活動教育活動

担 当： FD 委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の教育理念ならびに教育目標に基づき、教員の自主的・自律的な教育改善を支援する活動をとおして、「教育の質保証」の向上を図る。 2. FD 研修会の企画・運営ならびに学生の授業評価を中心に、教員の教授法など、教育支援に関する諸活動を行う。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. FD 研修会の企画および運営 第1回目は2018年8月22日(水)に「アクティブラーニングの正しい理解」として講義形式の研修会を実施し50名が参加した。第2回目は2019年3月7日(木)に「アクティブラーニング型授業を実践する」としてワークショップを実施し、44名が参加した。 2回の研修会でアクティブラーニングについての理解を深めることはできたが、これを個々の授業だけではなく、学科・科、ひいては全学的な取り組みとするかについては、これからの慎重な議論が必要である。 2. 学生による授業評価アンケートの実施 学生による授業評価を、前後期の学期末にアンケート方式により実施し、集計結果と担当教員からのコメントを記載した集計表を、教職員および学生に公開した。 教員からのコメントを記載し、学生へフィードバックする体制は確立したが、これが具体的な改善に繋がっているか、個々の授業で課題とされたことが改善できているかの検証まではできていない。 3. 教員間の授業参観の試行と本格実施に向けた検討 2017年度後期開講科目から2018年度前期開講科目を対象に試行し、2019年度からの本格実施に向けた検討を行った。2019年度からは授業参観を義務化し、授業評価アンケートと並ぶFD活動の柱としての確立を目指す。 4. 北海道FD・SDフォーラム実行委員 北海道地区FD・SD推進協議会の事業の一つである2019北海道FD・SDフォーラム(2019年9月開催予定)の実行委員として、北海道大学、帯広畜産大学、公立はこだて未来大学、北海道文教大学、稚内北星学園大学と共に天使大学がその任を負うこととなり、2月14日(木)に第1回目の会議に出席した。具体的な内容の検討はこれからであるが、このフォーラムを本学の教職員のFD・SD活動のひとつとして参加できるような内容を企画したいと考えている。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2020年度からの授業評価アンケート実施方法について、3年間の実施で見えた課題の改善方法を含めて2019年度に検討する。 2. 今後のFD活動の方向性を決定するため、大学の教育に関する現状把握と課題抽出を行うとともに、その活動を担う本委員会の在り方について再確認し、その体制等について2019年度中に教育研究評議会へ提案する。 3. FD研修会の内容を全学的な取り組みとして継続的に運用するための方法を2019年度中に検討する。 4. 北海道FD・SDフォーラム実行委員として、任期満了となる2019年9月まで、引き続き企画・運営を行う。

2018年度

第1回天使大学FD研修会アンケート

集計報告書

実施日:2018年8月22日(水)

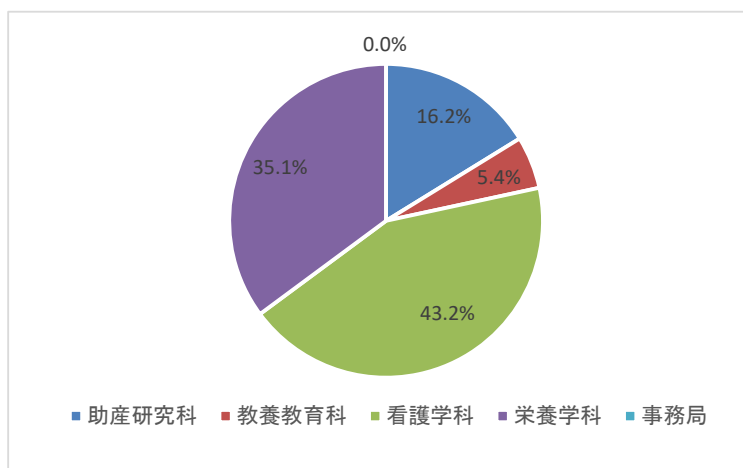
アンケート回収通数:37通

アンケート回答枚数 37

(出席者数: 50人、回収率:74%)

1. 所属

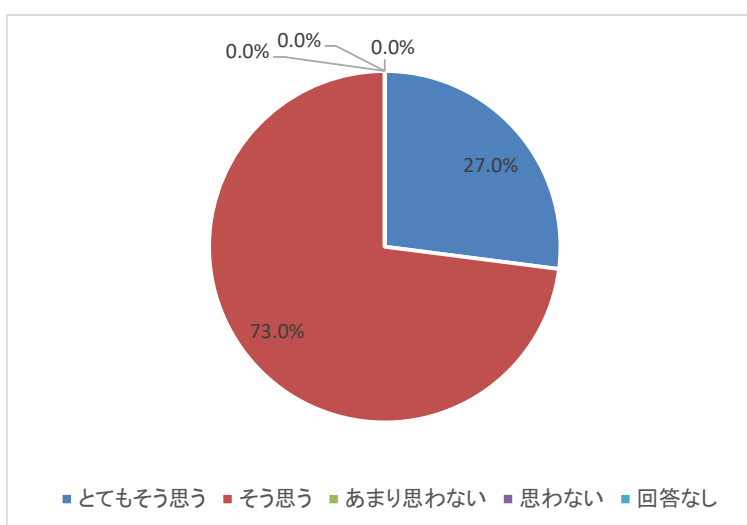
	助産研究科	教養教育科	看護学科	栄養学科	事務局
	6	2	16	13	0
%	16.2%	5.4%	43.2%	35.1%	0.0%



2. 今回の研修会について

2-1) 今回の研修会を受講して、アクティブラーニングを実施したいと思いませんか。

	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	思わない	回答なし
	10	27	0	0	0
%	27.0%	73.0%	0.0%	0.0%	0.0%



[とてもそう思うの理由]

授業に没頭できる環境づくりが必要だと感じたので。

[そう思うの理由]

むずかしいと思いきみを持たずに、自分ができるところから取り入れてみる

現在これに悪戦苦闘中です。

自分の授業を改善する方向性が見えたので

担当科目で実施していますが、課題も多く、今日の山本先生の講演をきいて、課題を明確にして、さらに授業方略を検討したいと思いました。いかに授業に没頭させるかを意識していきたいと思います。

いつも寝る学生で形成評価しています。最近は寝る学生は殆どいませんがその工夫として参考にしたいと思います。

実習自体、アクティブラーニングとなっている。学習動機の正の要因が多く含まれており、特に学生同士の話し合いが、より深い学びにつながっている。講義は90名対象…学ぶべきことと教えるべきことのメリハリを考えながら、実施してみたい。

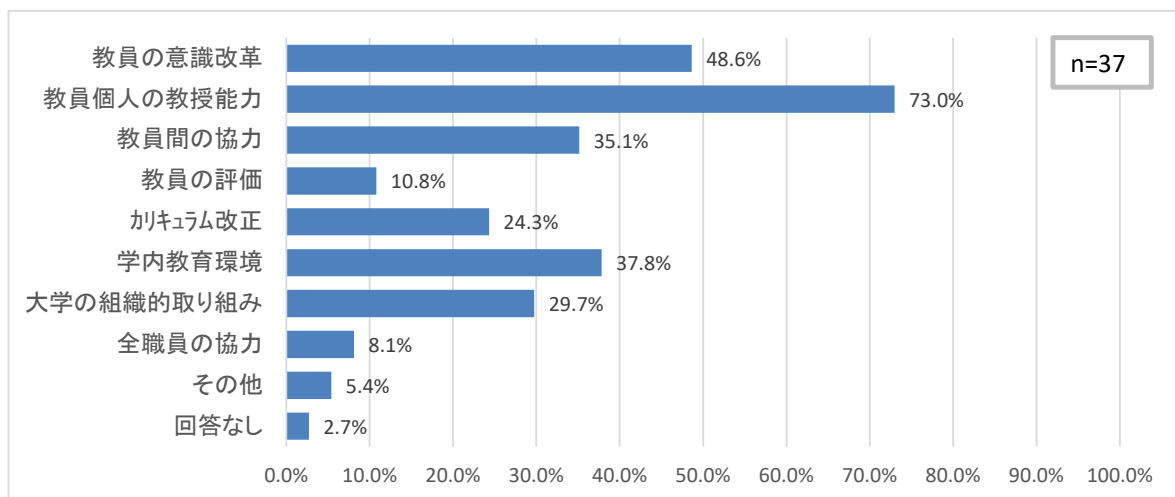
2-2) アクティブラーニングを実践するために必要と思うことはなんですか。(複数回答可)

	教員の意識改革	教員個人の教授能力	教員間の協力	教員の評価	カリキュラム改正
	18	27	13	4	9
%	48.6%	73.0%	35.1%	10.8%	24.3%
	学内教育環境	大学の組織的取り組み	全職員の協力	その他	回答なし
	14	11	2	3	1
%	37.8%	29.7%	5.4%	8.1%	2.7%

[⑨その他の具体的記述]

学生との共働

教員の知識量



[具体的な内容]

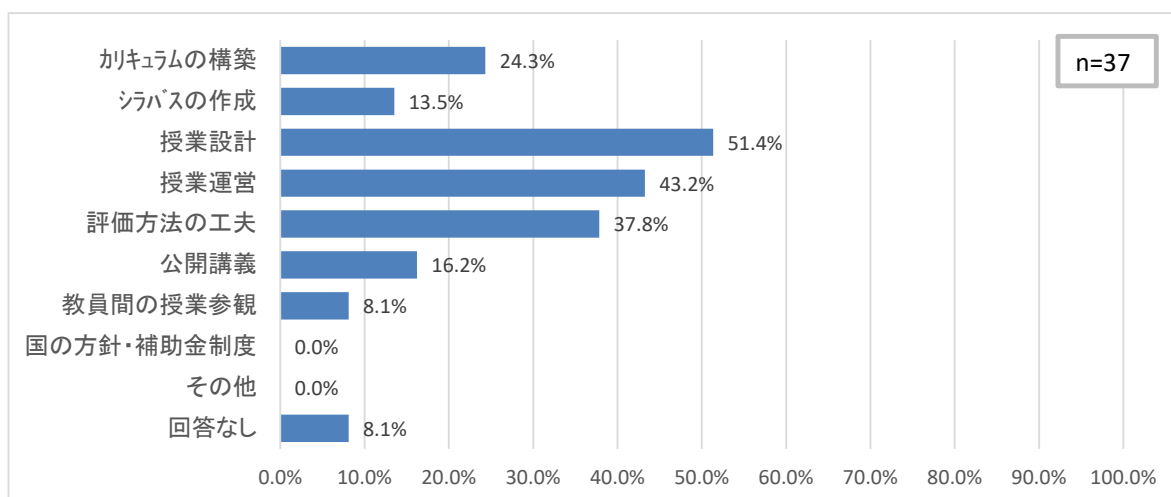
まず学生の「主体性」とは何か「議論」とは何かなど改めて考えることが必要。その上でこのテーマだと考えてこそだろう。

本学の学生がアクティブラーニングを理解しているのかが不明である。

昔からカリキュラム改正がある度と、授業項目は変わってもねる学生はねるのです

2-3) アクティブラーニングを実践するために、参加してみたい研修内容は。(複数回答可)

	カリキュラムの構築	シラバスの作成	授業設計	授業運営	評価方法の工夫
	9	5	19	16	14
%	24.3%	13.5%	51.4%	43.2%	37.8%
	公開講義	教員間の授業参観	国の方針・補助金制度	その他	回答なし
	6	3	0	0	3
%	16.2%	8.1%	0.0%	0.0%	8.1%



[具体的な内容]

ALの理論的に理解できたので、具体的に授業設計、運営さらに評価は連動してくると思うので、研修したい
 傾聴に関する山本先生が行われている授業を聴いてみたいと思いました

3. 次回研修会向け、質問したいこと、取り扱ってほしいこと

ディスカッションのやり方の講義も聞いてみたいです
 具体的事例をもとに授業構成をイメージできる内容がよいかと思います
 アクティブラーニング型授業のためのシラバス
 ディープアクティブラーニングについても、少し教えていただきたいです。アクティブラーニングとディープアクティブラーニングの違いも含めて、お願い致します。
 事例グループワークをしている学生は項目毎に分担をきめて調べるまではいいのですが、その後の話し合いがないらしく、仲間が担当した部分に関して知識が乏しい
 具体的な展開例を紹介してほしい。

2018年度 天使大学第1回FD研修会

1. テーマ : アクティブラーニングの正しい理解
2. 日時 : 2018年8月22日(水) 13:10~14:40
3. 会場 : 6号館1階 6101講義室
4. 講師 : 山本 堅一 氏 (北海道大学高等教育推進機構 特任准教授)
5. プログラム :

時間	内容
13:10~13:15 (5分)	学長挨拶 研修会趣旨説明・講師紹介
13:15~14:40 (85分)	講義・質疑応答

2018年度 天使大学第2回FD研修会

1. テーマ : アクティブラーニング型授業を実践する
2. 日時 : 2019年3月7日(木) 14:00~16:00
3. 会場 : 6号館1階 6101講義室
4. 講師 : 山本 堅一 氏 (北海道大学高等教育推進機構 特任准教授)
5. プログラム :

時間	内容
14:00~14:05 (5分)	学長挨拶 研修会趣旨説明・講師紹介
14:05~16:00 (115分)	講義・質疑応答

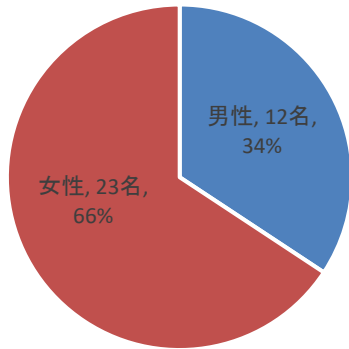
6. 社会貢献

担 当： 地域連携等委員会

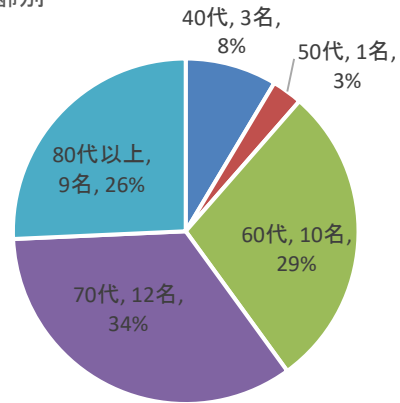
<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2019年度公開講座の企画 2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度天使大学・北海道科学大学公開講座の実施及び2019年度公開講座の企画 北海道科学大学と連携した公開講座は今年度で8回目である。北海道科学大学と連携することにより、医療、薬学、看護学、栄養学の分野から生活に役立つ情報をわかりやすく解説する講座を実施することが出来た。受講申込者は2017年度と比較すると0.7%減少したが、出席率は0.8%増加した。アンケート結果（別紙1）より受講者からの評価は高く、地域住民への有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。 2. 東区役所との連携事業及び5者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、北海道スポーツ専門学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 東区役所と連携し地域住民対象に7件の事業を行った。各事業とも本学教員と学生ボランティアが協力し、本学の質的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。今後もこれらの事業に関して継続できるようサポートする。 2) 東区5者連携事業として、「ひがしく健康・スポーツまつり」で[天使大の健康塾]の企画・運営を行った。地域住民参加型の企画内容で、本学は学生ボランティア協力のもと、食事バランスチェック・血圧測定・血管年齢測定を行った。 皆様の対応で元気をもらった、食生活の大切さを実感できたと好評で、今後も委員会として充実した企画・運営行っていく。 3. 大学間（北海道科学大学等）の連携事業等の展開 大学間連携として、北海道科学大学が主体で実施している「夕張地域医療体験」への学生参加者の募集・支援を行い、本学からは4名の学生が参加した。 4. 地域・他大学との連携事業の実態把握 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道科学大学と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。 2. 5者連携事業である「ひがしく健康・スポーツまつり」の「天使大の健康塾」について学生の参加を募り、充実した企画にする。 3. 北海道科学大学との連携事業では、夕張地域医療体験への学生参加者の支援、連携内容について北海道科学大学から提案されたことについて検討する。また、他大学との連携等についても検討する。 4. 本学教職員が地域・他大学と連携する事業等を把握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。

1. 次の事項について、差し障りのない範囲でお答え願います。

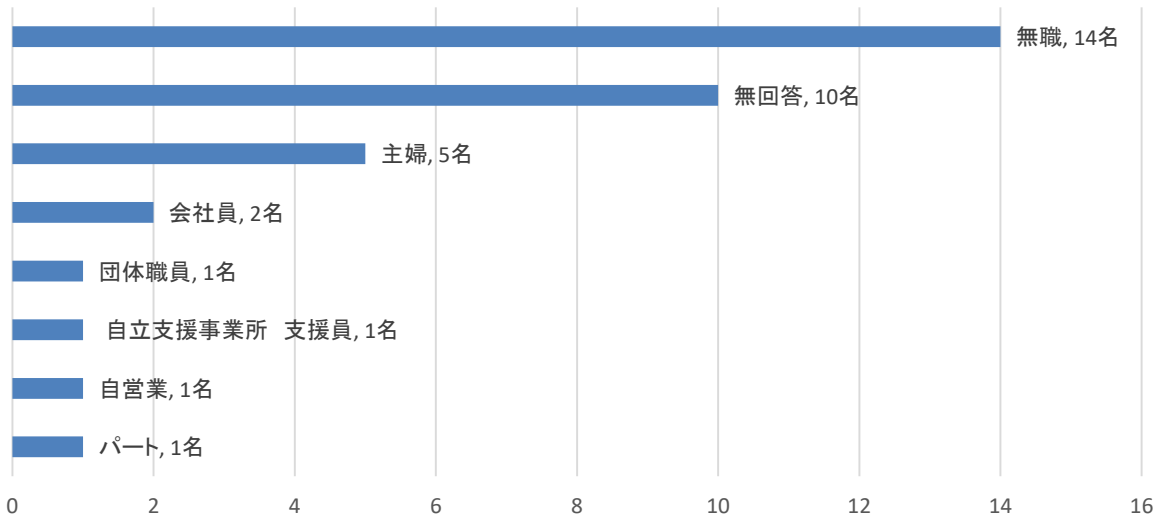
1.1)男女別



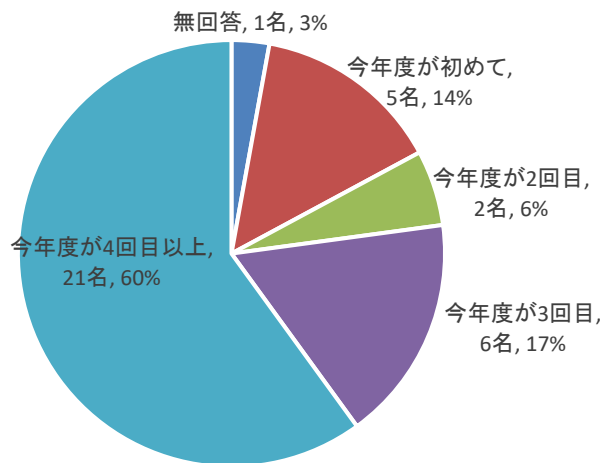
1.2)年齢別



1.3)職業別



2. これまでの参加回数



3. 何で知りましたか。(複数回答)

①	チラシ(北海道新聞折込み)	5人	11.6%
②	掲示ポスター	3人	7.0%
③	天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	22人	51.2%
④	新聞掲載	2人	4.7%
⑤	広報誌(道民カレッジ等)	5人	11.6%
⑥	ホームページ	2人	4.7%
⑦	その他	4人	9.3%
	無回答	0人	0.0%
合 計		43人	100.0%

※その他内訳…かでの2・7 区民センターなど、昨年受講した友人からの紹介、道民カレッジHP、友人に誘われて

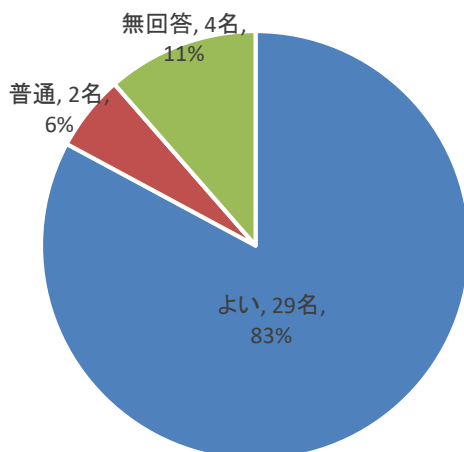
4. ご参加の動機をお聞かせください。(複数回答)

①	テーマに興味があったので	26人	32.9%
②	講師陣に魅力を感じて	1人	1.3%
③	2大学連携の公開講座だから	12人	15.2%
④	通いやすい会場だから	17人	21.5%
⑤	参加しやすい開講時間帯であるため	20人	25.3%
⑥	その他	2人	2.5%
	無回答	1人	1.3%
合 計		79人	100.0%

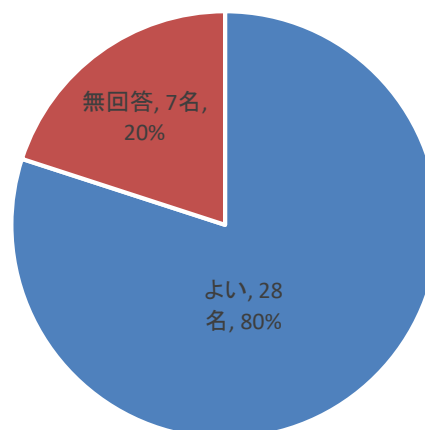
※その他内訳…受講料が安い、脳の活性を期待して。

5. 今年度の公開講座について感想をお聞かせください。

5.1)全体テーマについて



5.2)回数について



6. 社会貢献

担 当： ヘルスクエア実践開発プロジェクト

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. ライフステージ支援事業 2. 認知症サポーター養成事業 3. 東区地域診断</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. ライフステージ支援事業 地域の高齢者や子育て世代の方へのサポートで下記の事業を実施した。 ・東区アリオで開催された「ママフェスタ」に栄養と看護学科学生による、「ちびっ子ダンス」「折紙教室」を行った。午前と午後の参加者は約150名で、好評であった。 ・札幌市東区「すこやか倶楽部」（札幌市委託事業・東区介護予防センターなえぼ開催）への協力 「天使の健康教室」を2019年3月7日(木)むつみ会館：学生24名、3月8日(金)鉄東会館：学生25名が参加して、栄養学科と看護学科生による健康講座を開催した。 ・東区北光町内会の協力を得て、東区北光地区独居老人宅を訪問し、2018年12月17日クリスマスケーキを届けた。（8人のお宅を訪問） ・天使大学子育て支援事業 2019年3月22日（金）に参加者募集10組の親子を対象に、学生約15名による母親へのハンドマッサージとランチの提供、赤ちゃんの見守りを実施する予定。</p> <p>2. 認知症サポーター事業 ・2019年1月22日学生を対象に養成講座を実施した。 受講生：栄養学科19名、看護学科1名。</p> <p>3. 東区地区診断 ・2018年度は東区より、要請がなかった。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. ライフステージ支援事業は札幌市東区、東区北光町内会等との連携が構築されつつある。 東区介護予防センターなえぼから、「天使の健康教室」を4回開催に拡大できないかと要請がきている。基本的に札幌市東区や町内会との連携を深めて充実させる方針に従うが、日程、人員、費用面で実施可能かどうか、検討が必要。</p> <p>2. 認知症サポーター養成講座は栄養、看護学科にとって、学びの場としても活用されているため、今後も札幌市の協力を得て継続して実施する。</p> <p>3. 子育て支援は、日程、内容の充実をはかり、助産、看護、栄養の学生にとって実践の機会とする。</p>

7. 国際交流

担 当： 国際交流委員会

本年度の活動目標	<p>1. 天使大学の今後の国際交流のあり方について、検討を開始する。</p> <p>2. 韓国カトリック大学校との連携の具体化を検討する。</p> <p>3. ASEACCU への加盟を検討する。</p>
活動内容の評価	<p>1. 1) 学内で実施されている国際交流活動の発信</p> <p>まずは学生サークルである PEC の活動を紹介することを決定した。海外での活動内容の紹介文とその様子がわかる写真を数枚事務方へ提出してもらうこととし、代表者が変わってもこの取り組みが継続できるよう、引き継ぎを含めてサークル代表に依頼した。</p> <p>2018年度は3月に海外での活動を行う予定で、この活動報告からホームページに掲載する。</p> <p>2) 日・韓カトリック看護系大学による交流協議会への対応</p> <p>第8回目の協議会を札幌で開催することに伴って出席者が本学を表敬訪問されることとなり、学内で理事長の講演及び教員との交流会を行った。</p> <p>茶道部及び箏曲部の学生の協力も得て、国際交流の貴重な機会とすることができた。</p> <p>2. 韓国カトリック大学校との連携について、具体的な内容の検討を開始する。</p> <p>各学科・科を通じて連携内容についての案を募ったが、先方との具体的な交渉には至らなかった。ただ、「倫理」に関して連携の可能性が示されたため、2019年度も継続して検討する。</p> <p>3. ASEACCU への加盟</p> <p>8月にエリザベト音楽大学（広島）で開催された東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟（Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities : ASEACCU）の国際会議（学生会議と教職員会議）にオブザーバーとして参加して内容を視察し、ASEACCU への加盟を決定した。この加盟により、今後の東アジアおよび東南アジア諸国の大学との国際交流推進が期待できる。</p>
次年度への課題	<p>1. ASEACCU2019年度国際会議に出席し、東アジアおよび東南アジアの各大学との交流を図る。</p> <p>2. 2019年度のASEACCU国際会議が韓国で開催されるに伴い、この日程に加えて韓国カトリック大学を訪問し、連携可能な具体的内容について探る。</p>

8. 学生生活

担 当：学生委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学生生活ガイドブック」、「本学 Web サイト 在学生ページ、卒業生ページ」をより読みやすく改善する。 2. 「2017年度 学生生活についての調査」結果の集計、分析、改善への働きかけ 3. 1期工事開始にともなう学生生活のサポート 4. よりよい学生支援のための学内の情報共有体制の構築 5. 全学的な「危機管理体制」構築の要望 6. 学生等へのサポート体制の充実
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本学 web サイトのリニューアルにともない、在学生ページ、卒業生ページは必要な情報によりアクセスしやすくなり、利用者の利便性が高まった。また、学生生活ガイドブック、web サイト（在学生ページ、卒業生ページ）の掲載情報を最新のものに更新した。 2. 「2017年度 学生生活についての調査報告書」は、項目の割合を一目で視認できるようにするためグラフをカラー化した。また、学生満足度調査結果の「経年変化」がわかる折れ線グラフを追加した。自由記載は、改善に結びつけやすくするため、意見の多い順に並べた。以上のように、報告書は学生のニーズをより把握しやすいかたちに改善された。 3. 1期工事の開始により使用できなくなった施設（マリアホール、2号館等）は、その代替施設を設け、学生に T-NAVI・掲示等を通じて可能な限り周知した。その結果、学生から大きな不満は聞かれなかった。 4. 保健相談室、学生相談室、学務課学生担当の情報共有の会合を、月1回のペースで開催した。また、学生支援教員、保健相談室、学生相談室が、学生の個人情報に配慮しながらお互い連携して学生支援を行うなど、情報共有体制が構築されている。 5. 学生委員会が要望を続けてきた「全学的な危機管理体制の構築」が動き出し、学生委員会が原案を作成した「学生の懲戒に関する規程（一部改正）」、「学生の懲戒処分の標準ガイドライン」が、その第1歩となった。今後、学生委員会として「学生の事件・事故」、「海外研修」に関する危機管理個別マニュアルを改訂し、学生の危機対応のさらなる整備に努める。 6. 2018年度海外研修は、渡航先を学生への事前アンケートの結果最も人気が高かった「オーストラリア シドニー」に決め、参加者を募集したが、最少催行人員20名に満たず催行できなかった（申込者9名）。渡航先の選定、プログラムの立案に問題はなかったが、オーストラリア シドニーの高い物価、航空券料金の高騰等の影響もあり、旅行代金が「35万円程度」と高額だったことが、最少催行人数に満たなかった一番の要因と考える。次年度は、アジア圏も視野に入れて旅行代金をできるだけ抑え、海外研修の催行に万全を期する。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学生の事件・事故」、「海外研修」に関する危機管理個別マニュアルを改訂する。 2. 今年度策定した「学生の懲戒処分の標準ガイドライン」を学生に周知させ、学生の不法行為・非行の抑止を図る。 3. 新棟建設の影響により初めて外部施設（札幌市民ホール）で行う「合唱コンクール」を、過誤なく実施・運営する。 4. 新棟建設の影響で使用施設が大きく制限される「天使祭」、開催場所が「東区体育館」から「北海きたえーる」に変更する「体育祭」が、例年通りつつがなく行われるよう、学生をサポートする。 5. 本学が設定した「海外研修の目的」と「学生のニーズ」に適った海外研修を企画

	<p>し、最少催行人数をクリアするとともに、参加学生から高い満足度を得る。</p> <p>6. キャンパス整備計画の推進にともなう「使用可能施設の減少」、「建設工事の騒音」等による学生への影響をヒアリング等で把握し、学生生活の質の低下を軽減するよう努める。</p>
--	--

8. 学生生活

担 当： 宗務委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 3. カトリックの精神に基づく宗教的環境を整備する。 4. カトリックの精神に基づく研修会へ参加する。 5. カトリックセンターとの連携を図る。 6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 7. 「2018年度カトリック医療関連学生セミナーin大阪」に学生の参加を促す。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教的精神に基づく人間の育成を図る。 天使大学の理念である「愛を通して真理へ」を実践するために励んだ。 2. カトリックの精神に基づく宗教的行事を企画運営する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生および教職員を対象とする宗教的行事を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①イースターの集い ②クリスマスの集い ③修了・卒業感謝のミサ ④毎週のミサ ⑤その他の宗教行事（クリスマスツリー点灯式、灰の儀式など） 2) 学生を対象とする宗教的行事を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①チャペルアワー：聖書についての黙想（担当者：ケン） ②学生修養会・修養会における支援：ケンが「講話」「祈り」「ミサ」を行った。 ③アッセンブリー・アワーにおける宗務関連の講話：（担当者：ケン） <ol style="list-style-type: none"> 1年次生：マリア様について 2年次生：マザー・テレサについて 3年次生：聖フランシスコについて 4年次生：天使について 3) 教職員を対象とする宗教的行事を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①教職員の修養会 ②退職される教職員への感謝のミサ 4) 上記の宗教的行事を行うにあたり、掲示板やT-NAVIなどを用いて行事の目的や内容などを周知し、学生や教職員の参加を促した。 3. カトリック精神に基づく宗教的環境を整備する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 学内およびチャペル等の環境整備を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①聖堂の環境整備：毎週月曜日に生花を聖堂に飾った（四旬節中は除く）。 ②クリスマスの環境整備：聖堂にツリー、屋外のモミの木にイルミネーション、廊下に馬小屋を飾った。クリスマスキャロルの放送を行った。 2) 宗教的行事のための物品調達を行った。 4. カトリックの精神に基づく研究会へ参加する。 研究会への参加は多忙のため控えた。 5. カトリックセンターとの連携を図る。 カトリックセンターと連携し教職員修養会を企画し行った。 6. アッセンブリー・アワーの日程を調整する。 学科、学生支援教員、各委員会等の意向を伺って日程を調整した。 7. 「2018年度カトリック医療関連学生セミナーin大阪」に学生の参加を促す。 ポスターやT-NAVIを利用し周知したが、今年度は参加希望者がいなかった。

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 「2019年度カトリック医療関連学生セミナー」についてポスターやT-NAVIを利用し学生の参加を促す。2. アッセンブリー・アワーの在り方について学科、各委員会等からの意見を伺い、カトリックセンターと連携し改善する。3. カトリックの精神に基づき研究会に積極的に参加する。
---------	---

8. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>キャンパスにおける人権意識を成熟させ、大学生活環境を快適なものとするため、ハラスメント問題について啓発・点検・支援・問題解決を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象としたハラスメントに対する理解を深めるための講演会を開催する。 2. 言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントに対する知識を深めるため、講演会を開催する。 3. 新入生ガイダンス時にガイドラインを配付し、説明を行う。 4. 防止のためのポスターを掲示し、全学的な啓発活動を行う。 																																								
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新入学生を対象に、キャンパス・ハラスメントに関する講演会を開催した。 参加率 <table border="1" data-bbox="507 667 1283 936"> <thead> <tr> <th></th> <th>在学数</th> <th>参加者</th> <th>2018年度の参加率</th> <th>2017年度の参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>102</td> <td>70</td> <td>69%</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>99</td> <td>53</td> <td>54%</td> <td>35%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>201</td> <td>123</td> <td>61%</td> <td>64%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生掲示板への開催通知掲示やT-NAVIでの掲示及びメール配信を行い、参加を募ったが、参加率は全体で61%と、前年度の64%を下回った。参加率を上げるための周知方法について検討・改善が必要である。</p> 2. 言葉やコミュニケーションによって引き起こされる恐れのあるハラスメントについて、知識を深めるための講演会を、両学科3年生及び看護学科4年生を対象にそれぞれ開催した。 参加率 <table border="1" data-bbox="507 1272 1209 1518"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>在学数</th> <th>参加者</th> <th>参加率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学科</td> <td>3年</td> <td>93</td> <td>20</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>栄養学科</td> <td>3年</td> <td>92</td> <td>12</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>4年</td> <td>91</td> <td>22</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table> <p>学生掲示板への開催通知掲示やT-NAVIでの掲示及びメール配信を行い、参加を募ったが、参加率が全体で17%と非常に低かった。参加率を上げるために、周知方法や、内容の見直しが必要である。</p> 3. 新入生ガイダンス時にガイドライン配付と説明を行う計画について、規程改正があったことでガイドラインへの反映が間に合わなかったため、実施しなかった。次年度、早急に新規程の内容を反映したガイドラインを作成し、T-NAVIで配信する。 4. 啓発活動について、防止のためのポスター貼りなどを実施しなかったため、次年度は必ず実施したい。 		在学数	参加者	2018年度の参加率	2017年度の参加率	看護学科	102	70	69%	91%	栄養学科	99	53	54%	35%	合計	201	123	61%	64%			在学数	参加者	参加率 (%)	看護学科	3年	93	20	22%	栄養学科	3年	92	12	13%	看護学科	4年	91	22	24%
	在学数	参加者	2018年度の参加率	2017年度の参加率																																					
看護学科	102	70	69%	91%																																					
栄養学科	99	53	54%	35%																																					
合計	201	123	61%	64%																																					
		在学数	参加者	参加率 (%)																																					
看護学科	3年	93	20	22%																																					
栄養学科	3年	92	12	13%																																					
看護学科	4年	91	22	24%																																					

次年度への課題	<ol style="list-style-type: none">1. 講演会の参加率を上げるため、周知方法や講演会内容について、以下のように見直しを検討する。<ol style="list-style-type: none">①新入生を対象とした講演会については、入学時のLHR等で、必ず参加するように促す。②言葉やコミュニケーション上での気が付かないうちに発生するハラスメントは、実習前の3年生や、社会に巣立つ前の4年生を対象として企画したが、一般的な内容だけでなく、事例を含めた内容を加えるように検討したい。2. 新規程の内容が反映されたガイドラインを作成し、学生に周知する。3. ポスター等の掲示による啓発活動を積極的に行う。
---------	---

9. 就職支援

担 当： 就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 2. 就職活動に関する支援活動 3. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援 4. 就職相談室の環境整備 5. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価 6. 就職に関する情報交換及び最新情報収集 7. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 就職ガイダンス・セミナーの企画・実施 各学科学年の就職活動時期に合わせガイダンス・セミナーを企画し実施した。 今年度、初めて両学科2年次生に「就活スタート講座Ⅰ」と題し、就職相談室の利用方法、就活スケジュール等についてガイダンスを実施した。130名(看護80名、栄養50名、参加率73.4%)が参加し、アンケート結果も好評であった。 2) 学内企業説明会の企画・開催 栄養学科3・4年次生対象に採用説明会を15回(35社)開催し、延べ375名の学生が参加した。 2. 就職活動に関する支援活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 内定率について(3月15日時点) 看護学科100%(前年度100%)、栄養学科88.9%(前年度93.1%) 公務員栄養士職は、札幌市に2名(この他に既卒者2名合格、募集枠8名)、北海道食品衛生監視員に2名(募集枠2名)、市町村に1名合格した。試験前日まで複数回にわたり面接練習を行い合格につなげた。 2) 就職相談員による個人面談・面接演習・履歴書添削等、就職活動全般の支援 個人面談：161回 面接演習：459回 履歴書添削：309回 就職活動最終段階まで様々な就職支援を行い内定につなげた。 3) 札幌新卒応援ハローワークによる模擬面接演習 学内で学卒ジョブサポーターによる模擬面接演習(1日2名まで、1人30分)を48回企画し、延べ67名の学生が参加した。 3. 教職課程(栄養教諭)履修者への就職支援 教職課程委員会と連携し支援を行った。教職課程担当教員等が出題傾向等の分析を行い、試験対策等のガイダンスを実施した。北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の採用登録者は、5名(9名受験中)であった(全採用登録者22名)。 4. 就職相談室の環境整備 第2期工事(4号館改修)により、就職相談室が4号館1階に設置予定のため、新就職相談室についての要望書をキャンパス整備委員会に提出した。 5. 就職状況調査(離職調査)の実施、分析・評価 <ol style="list-style-type: none"> 1) 調査の実施、分析・評価 2017年度卒業・修了生193名(看護88名、栄養88名、助産11名、看栄研6名)を対象に就職状況調査(2018年12月～2019年1月末)を実施した。全体回答率41.1%(前年度37.4%)であった。今後、調査の結果を分析し、就職活動支援に役立てる。 6. 就職・採用状況等に関する情報交換及び最新情報収集 <ol style="list-style-type: none"> 1) 病院・施設・企業等との情報交換 採用担当者との面談し、採用状況、卒業生の状況等について把握し、情報交換を行った。病院・施設・企業等求人訪問面談数：123回

	<p>2) 他大学との情報交換 研修会、意見交換会等に積極的に参加し、就職担当者と内定状況等について情報交換を行った。</p> <p>3) 就職情報会社との情報交換 就職情報会社等から採用状況等の情報収集を行い、情報交換を行った。</p> <p>4) 学生への情報提供 病院・施設・企業、他大学、就職情報会社等から得た就職活動に関する最新情報を就職ガイダンス等で学生に提供した。</p> <p>7. 既卒者、卒業・修了生に対する就職支援 既卒者、卒業・修了生に対し、求人情報の提供等の就職支援を行った。 求職登録者数：50名 就職支援数：22名 内定者数：5名</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 新規就職セミナーの企画と就職セミナーの参加率の向上 学生からの問い合わせの多いビジネスマナー（手紙・メールの書き方、面接時のコートのたたみ方等）講座やグループディスカッション講座等を6月上旬から実施する。開催日の1週間前に再度、案内をT-NAVIで周知し、参加率を向上させる。</p> <p>2. 就職相談室を利用しない学生への積極的就職支援 4年次の11月末までに一度も利用していない学生に面談を実施、就職活動状況の把握を行い、希望する就職先への内定につなげる。</p> <p>3. 就職状況調査(離職調査)の回答率の向上 在学中に卒業後「就職状況調査」を実施することについて説明を行い、回答の協力を求める。また、次年度の調査に向けて、新たな調査内容の検討を行う。</p>

10. 図書館

担 当：図書情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新棟建設が始まるため、新図書館に必要な情報提供を中心に、協力体制を築く。 2. 新棟建設だけでなく、現在の利用者にもより良い利用環境が提供できるよう、利用状況を把握し、改善策を講じていく。 3. 図書館ホームページのリニューアルを行う。 4. 自発的学習を支援するためのガイダンスを適宜行っていく。 5. 過年度登録研究費図書等の除籍・廃棄を実施し、資産管理を徹底する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャンパス整備委員会へサーバー室や図書館、ラーニング・コモンズに関する情報提供を行い、新棟での各施設の詳細が決定された。 2. 館内貸出用パソコンを10台に増やしたことにより、学生のニーズに即応できるようになった。 3. 図書館ホームページは、大学公式サイトに合わせて、2018年6月にリニューアルした。 4. 学科・科・研究科と連携し、アッセンブリ・アワーなどで以下のガイダンスを実施した。学生が自主的に課題と取り組めるように、多種の文献検索用データベースを紹介し、サポート体制を整えた。 <ul style="list-style-type: none"> ・学部1年：図書館ツアー(基礎学修演習：4-5月に実施) ・学部1年：文献検索ガイダンス(アッセンブリ・アワー：11月に実施) ・看護3年：文献検索ガイダンス(12-1月に実施) ・栄養4年：文献検索ガイダンス(4-5月に実施) ・助産1年：文献検索ガイダンス(4月と10月の2回実施) 5. 新棟への図書館移設を考慮し、各学科・科・研究科の確認を経て、図書情報委員会において、役割を終えた図書館資料の除籍及び廃棄を決定し、蔵書管理の徹底を図った。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の利用動向の把握及びそれに基づく利用環境改善案の立案・実施 2. 文献検索ガイダンスを受けていない学生への対応策の検討 3. 過年度登録研究費図書等の除籍・廃棄の実施及び資産管理としての蔵書管理を徹底 4. 新図書館への移設計画の立案及び円滑な実施

11. 情報処理システム

担 当：図書情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理 2. 学生の情報処理室、無線 LAN 環境利用促進 3. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ 4. 遠隔地実習、大学院講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用 5. 情報セキュリティに関する情報収集と対策の強化 6. サーバシステム、ネットワークシステムリプレース完了後のシステム安定稼働 7. 新棟建設に係る情報提供や課題検討
活動内容の評価	<p>1～7：計画の通り、すべて実施した。特筆すべき事項は以下のとおり。</p> <p>2. 例年通り情報処理室の維持管理を行っているが、学生の飲食等、マナーの欠如がここ数年の課題となっていた。今年度は情報処理室利用ルールを見直し、密閉容器に限って飲み物の持ち込みを許可した。利用ルール変更後の違反は減少しているが、今後飲食による機器トラブルが発生した場合は再度見直しを図る必要がある。</p> <p>無線 LAN 環境については後述するシステム更新により接続方法が簡略化され、要望の多かった SNS のアクセスも可能となった。これにより利用者が急増したが、一方でネットワーク負荷増による学内ネットワークの遅延が頻発するようになった。導入業者と連携し無線 LAN 通信量を制限することで学内ネットワークへの影響を最小限に留める対策を行った。</p> <p>3. 学内 LAN 掲示板のソフトウェアアップデートを行い、天使学園及び大学規程集が項番順に表示されない課題が解決した。</p> <p>4. 今年度より大学院の一部科目において遠隔地に勤務している院生に対する授業で Live On システムが活用された。</p> <p>5. メールシステム切替えにより学外からのメール送受信が可能となった分、セキュリティリスクが高まった。このため、今年度より「情報システム管理運用及び利用に関する規程」及び「学内ネットワークサービス利用ガイドライン」の見直しを始めた。</p> <p>6. 今年度4月に指名競争入札を実施し、導入業者は株式会社富士通エフサスに決定した。8月に更新作業を実施し、更新後は安定稼働に向けた対応を導入業者と連携して行った。</p>
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出用パソコンの整備・維持管理 2. 情報処理室、無線 LAN 環境の利用促進 3. 学内 LAN 掲示板のブラッシュアップ、掲載情報の充実 4. 遠隔地実習、大学院講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用促進 5. 情報セキュリティに関する情報収集と危機管理の強化 6. 新棟建設に伴うサーバー室移設に係る実施計画の立案

12. 施設・設備

担当：財務室

本年度の活動目標	<p>1. 2018年度は第1期工事の基本設計、実施設計、契約、着工までを滞りなく進めていく。</p> <p>2. 第1期工事は、校舎敷地内で授業を行いながらの工事となるため、事故なく工事が進むよう安全管理に努める。</p>
活動内容の評価	<p>1. 2018年度は、第1期工事（新校舎）の基本設計、実施設計を進め、12月に建設工事に着手した。</p> <p>新校舎の建物本体、各フロア、外観等について、キャンパス整備委員会、フロア担当者会議、厨房ワーキンググループでの検討を重ね、設計に反映し、昨年7月に先行工事の請負契約を、12月に本体工事の請負契約を締結し、既存校舎の解体、新校舎の起工式を経て、着工に至り、概ね計画どおり事業が進捗してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスマスタープランについては、計画内容の検討や2018年3月に実施した「ルーツを辿る旅」の結果を反映して策定した。 ・当初計画との大きな変更は、継続利用を前提としていた「マリアホール」について建築基準法等の法令上の理由から、2号館と一体の建物として取り壊しになったことから、5号館を存続させ、使用することとした。 ・2019年度10月に予定されている消費税の税率改正を見越して、オープン入札方式により家具、机、椅子等の什器備品の選定を進め、2018年度内に業務委託契約を締結した。 ・2020年度の2期工事に向けて、4号館等の改修内容について決定し、契約に向けて進めてきた。 <p>2. 第1期工事の進行管理については、清水建設（株）の現場事務所責任者との間で毎月2回、現場定例会議を実施し工事スケジュールや進捗状況の確認のほか、校舎敷地内での工事のため、学生等に影響が及ぶ事項についてはその都度学内周知に努め、事故等が生じないよう工事の円滑な実施に努めている。</p>
次年度への課題	<p>1. 第1期工事については、2020年2月の完成に向けて着実に推進する。</p> <p>また、2020年度の供用開始に向けての円滑な引越しを行う。</p> <p>2. 2020年度からの第2期工事に向けて、着実に準備を進める。</p>

13. 管理運営

担 当：事務局長

本年度の活動目標	1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。
活動内容の評価	<p>1. 我が国の社会全体の構造変化を踏まえ、国が進めている高等教育改革に的確に対応するため、2018年度から本学に副学長を設置した。</p> <p>副学長は、学長からの特命事項として「大学院看護栄養学研究科看護学専攻博士後期課程の設置」について学内の取りまとめ、文部科学省への申請の責任者として努めている。</p> <p>このほか、学内理事者等による定例学内打ち合わせに構成員として参画するほか、2018年度の大学基準協会の認証評価への対応に関し改善課題等への対策の検討について学長の支援に努めている。</p>
次年度への課題	<p>1. 「学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。」ことについては、本年度限りとする。</p> <p>2. 大学基準協会の「大学基準」を参考に、本件「XⅢ管理運営」及び「XⅤ事務組織」の活動内容について再整理する方向で検討し、点検評価を実施する。</p> <p>例えば、法人及び大学運営に必要な事務組織、予算編成・予算執行、教職員の資質向上の取組などについての整理が必要である。</p>

14. 財務

担 当：財務室

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中期財務計画の立案 2. 学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動の推進
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 天使学園中期財務計画については、2017 年度決算を踏まえて、2018 年度から 2023 年度までを期間として策定し、2018 年 7 月に理事会で決定した。 計画内容については、キャンパス整備事業に係る新校舎建設事業費、4 号館改修事業費、私学振興共済事業団からの借入金額、基本金取崩額等に加えて、2020 年度からの看護栄養学部の入学定員の増員、専門職大学院の改組転換に向けた検討状況等を踏まえて、収支の変動要因を見込み、策定した。 中期財務計画は、前年度の決算を踏まえて毎年度、見直しすることとしているが、本年度に看護栄養学部の入学定員が理事会で再修正され、文部科学省に申請していることから、これを含めて 2019 年度に中期財務計画を見直す。 2. 昨年度に引き続き、今年度も学園創立 70 周年・大学開学 20 周年記念募金活動を行った。同窓会の協力により、卒業生や在学生の保護者に募金の募集要項を郵送してきたが、募金の使用目的をより明確にするために、新校舎の案内パンフレットを作成した。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護栄養学部の入学定員や大学院看護栄養学研究科、助産研究科の改組転換等を踏まえた見直し 2. 新校舎案内パンフレットの活用による募金事業の活性化

15. 事務組織

担 当：事務局長

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. システムのより安全で安定的な環境を構築するため、サーバー・システム等の更新や事務局導入システムの円滑な運用を目指す。 2. キャンパス整備事業に事務局として迅速で、的確な対応を図る。 3. 事務局として中長期計画に基づく具体的な対応策を検討する。
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1. 8月にサーバー・システム等の更新を行い、ソフト及びハードが一新され保守面を含めて安定的な運用体制を整えることができた。 今後は教職員の要望を取り入れながら、ユーザビリティが高いシステムを目指し、調整を行っていく必要がある。 本学は緊急時に T-NAVI のメール機能及び天使大学 Gmail による一斉メールで学生、教職員へ連絡を行っているが、2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、停電の影響で学内サーバーが停止し、学生及び教職員に対して天使大学 Gmail による一斉メールを送信した。しかし、一部教職員にメールが届かない事態が発生した。原因を確認したところ、一部教職員が緊急連絡用メールアドレスを総務課に伝えていなかったことや、携帯電話及びスマートフォンの迷惑メール設定により受信できなかったことが判明した。 今後は適切な連絡が正確に行えるよう、緊急連絡用メールアドレスの連絡を教職員に呼びかけ、定期的な実施訓練を行う必要がある。 2. キャンパス整備事業については、「12. 施設・設備」を参照願いたい。 3. 中期財務計画の策定に合わせて、2023年度までの年度別事業計画を策定したが、学園としての中長期計画は策定できていない。 4. 事務組織については、2018年度に実施された大学基準協会による認証評価により「10(1)大学運営」で大学運営に必要な事務組織について検証される機会となった。 本学がこれまで事務組織の活動目標として掲げた内容とは異なるが、今後の自己点検評価活動の「事務組織」として検討すべき事項の参考になったので確認する。 大学基準協会の評価案（2018年12月）：「10(1). 事務組織」評定B 大学運営に必要な事務組織を設け、適切に機能しているが、職員と教員が協働して大学運営に必要な知識等を向上させるための取組や研修の機会を設けるよう改善を求められた。
次年度への課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学基準協会の改善課題を踏まえて、教員と職員のSD・FD活動のあり方を検討し、必要な改善策に取り組む。また、中長期計画については、次年度から別に項目を立てて検討する。 2. 教職員の要望を取り入れたユーザビリティの高いシステム構築を整備し、緊急時を想定した連絡訓練の実施を検討する。

16. 自己点検・評価活動

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2017 年度年報の発行 2. 年度末の活動報告会の実施による課題及び次年度への改善点の明確化と学内 PDCA サイクルの確立の検討 3. 大学基準協会認証評価及び助産評価機構認証評価の準備と対応 4. 研究業績システムの運用と充実
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 年報について、7月に発刊した。大学基準協会の認証評価結果を受け、年報の内容の見直し等を検討する必要がある。 2. 大学基準協会認証評価及び助産評価機構認証評価を受け、「大学基準に適合」との評価であった。 しかし、大学基準協会より改善課題及び是正勧告があり、それらについて早急に改善する必要があるが、内部質保証について大学全体で取り組まなければいけない。そこで、3月12日に全教職員を対象とした講演会を実施し、知識及び意識を深めた。引き続き全学で内部質保証に対する知識及び意識を深めるため、講演会等を実施する必要がある。 3. 研究業績システムについては特に問題なく稼働している。しかし、公開する情報等、今後検討する必要がある。
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2018年度の大学基準協会による認証評価を受けて明らかになった課題に対する改善及び改善報告書の作成準備（3年計画） 2. 天使大学年報及び活動報告会の内容及び時期等の見直し 3. 自己点検評価委員会の役割及び権限を含めたあり方の検討、規程の見直しと改正案の作成 4. 内部質保証システムの確立に向けた研修会の企画運営

自己点検・評価資料

目 次

1. 学事暦	48
2. 2018年度開講科目一覧	51
3. 学生数・奨学金の採用状況	60
4. 国家試験合格率	63
5. 就職・進学状況	64
6. 2019年度入学試験結果	67
7. 教員組織	68
8. 事務組織	70
9. 研究等の活動	71
10. 組織図	72
11. 会議の開催状況	73
12. 委員会構成一覧	84
13. 委員会の活動報告	86
14. 図書館の利用状況	105
15. 情報処理室の利用状況	106
16. 施設・設備の状況	107
17. 財務状況	108

1. 学事暦（看護栄養学部看護学科）

2018年度 学事暦

【看護学科】

暦		1年次	2年次	3年次	4年次	全学行事等					
日	月	火	水	木	金	土					
1	2	3	4	5	6	7	4/3 入学式 4/4 オリエンテーション 4/5-6 出会いと親睦のゼミ	4/4 ガイダンス 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間	4/4 ガイダンス 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間	4/4 ガイダンス 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間	4/3 入学式 4/4 定期健康診断
8	9	10	11	12	13	14	4/9 授業開始(前期) 4/9~13 履修登録期間				4/17PM イースターの集い
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28					
29	30	1	2	3	4	5					
6	7	8	9	10	11	12	6/2・16・23・30土曜開講予定	6/2・16・23・30土曜開講予定	6/2・16・23・30土曜開講予定		5/15PM 合唱コン
13	14	15	16	17	18	19					
20	21	22	23	24	25	26					
27	28	29	30	31	1	2					
3	4	5	6	7	8	9					6/7PM 天使祭準備 6/8・9 天使祭 6/9 第1回オープンキャンパス
10	11	12	13	14	15	16					
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30					
1	2	3	4	5	6	7	7/7・14土曜開講予定	7/7土曜開講予定	7/7土曜開講予定		
8	9	10	11	12	13	14		7/13~20 定期試験	7/13~20 定期試験		
15	16	17	18	19	20	21		7/21~9/10 夏季休業	7/21~8/26 夏季休業		
22	23	24	25	26	27	28	7/23~27 定期試験				
29	30	31	1	2	3	4	7/28~9/9 夏季休業	7/31~2 追再試験	7/31~2 追再試験		7/30看護学科第2回オープンキャンパス 8/3栄養学科第2回オープンキャンパス
5	6	7	8	9	10	11					
12	13	14	15	16	17	18					
19	20	21	22	23	24	25	8/22~24追再試験			8/4~9/9 夏季休業	
26	27	28	29	30	31	1		8/27~9/7 基礎看護学臨地実習Ⅱ	8/27~10/26 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ	8/22~23追再試験	
2	3	4	5	6	7	8					
9	10	11	12	13	14	15	9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間	9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間		9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間	9/22 大学院入学試験
16	17	18	19	20	21	22		9/26 戴帽式			9/26PM 戴帽式
23	24	25	26	27	28	29					9/28 前期卒業・学位記授与式
30	1	2	3	4	5	6	基礎看護学臨地実習Ⅰ AM 10/4・5・11・12 1日 10/23・24・30・31				9/28AM ステップアップセレモニー
7	8	9	10	11	12	13					9/29第3回オープンキャンパス
14	15	16	17	18	19	20					10/2 避難訓練
21	22	23	24	25	26	27	10/27 土曜開講予定	10/27 土曜開講予定	10/27 土曜開講予定	10/27 土曜開講予定	10/20 大学院入学試験(前期)
28	29	30	31	1	2	3			10/29 授業開始(後期) 10/29~11/2 履修登録変更期間	10/29~11/9 統合看護臨地実習	
4	5	6	7	8	9	10	11/10・24 土曜開講予定	11/10・24 土曜開講予定	11/10・24 土曜開講予定	11/10・24 土曜開講予定	11/17 学部入学試験
11	12	13	14	15	16	17		11/12~16 老年看護学臨地実習Ⅰ			
18	19	20	21	22	23	24		11/20~21修養会			
25	26	27	28	29	30	1	12/1・15 土曜開講予定	12/1・15 土曜開講予定	12/1・15 土曜開講予定	12/1・15 土曜開講予定	11/27 体育祭
2	3	4	5	6	7	8			12/5~6 修養会		12/8 創立記念日
9	10	11	12	13	14	15					
16	17	18	19	20	21	22					
23	24	25	26	27	28	29					12/18PM クリスマスの集い
30	31	1	2	3	4	5					12/25 キリスト降誕祭
6	7	8	9	10	11	12	12/24~1/7 冬季休業				
13	14	15	16	17	18	19					
20	21	22	23	24	25	26					1/26 大学院入学試験(後期)
27	28	29	30	31	1	2	1/28~2/1 定期試験	1/28~2/1 定期試験	1/28~2/1 定期試験	1/26~3/31 春季休業 1/30~2/1 追再試験	
3	4	5	6	7	8	9	2/2~3/31 春季休業	2/2~3/31 春季休業	2/2~3/31 春季休業		2/6・7 学部入学試験
10	11	12	13	14	15	16					2/13 学部入学試験
17	18	19	20	21	22	23	2/21~25追再試験	2/21~25追再試験	2/21~25追再試験	2/21~22修養会	2/20 学部入学試験
24	25	26	27	28	1	2					
3	4	5	6	7	8	9					
10	11	12	13	14	15	16				3/14卒業・修了 感謝のミサ 3/15 卒業・学位記授与式	3/15 卒業・学位記授与式
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30					
31	1	2	3	4	5	6					

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

1. 学事暦 (看護栄養学部栄養学科)

2018年度 学事暦

【栄養学科】

暦							1年次	2年次	3年次 (編入3年)	4年次 (編入4年)	全学行事等
日	月	火	水	木	金	土					
1	2	3	4	5	6	7	4/3 入学式 4/4 オリエンテーション 4/5・6 出会いと親睦のゼミ	4/4 ガイダンス 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間	4/4 ガイダンス 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間	4/4 ガイダンス 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間	4/3 入学式 4/4 定期健康診断
8	9	10	11	12	13	14	4/9 授業開始(前期) 4/9~13 履修登録期間				4/17PM イースターの集い
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28					
29	30	1	2	3	4	5					5/15PM 合唱コン
6	7	8	9	10	11	12					
13	14	15	16	17	18	19	6/2・16・23・30土曜開講予定	6/2・16・23・30土曜開講予定	6/2・16・23・30土曜開講予定	↑ 5/21~5/25 給食経営管理論実習Ⅲ 5/21~6/8, 8/13~9/14 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ 5/28~6/1 栄養教育実習	6/7PM 天使祭準備 6/8・9 天使祭 6/9 第1回オープンキャンパス
20	21	22	23	24	25	26					
27	28	29	30	31	1	2					
3	4	5	6	7	8	9	7/7・14土曜開講予定	7/7・14土曜開講予定	7/7・14土曜開講予定	7/7・14土曜開講予定	
10	11	12	13	14	15	16					
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30	7/23~27 定期試験	7/23~27 定期試験	7/23~27 定期試験	7/23~8/12 夏季休業	
1	2	3	4	5	6	7					
8	9	10	11	12	13	14	7/28~9/9 夏季休業	7/28~9/9 夏季休業	7/28~9/2 夏季休業	7/31~2 追再試験	7/30看護学科第2回オープンキャンパス 8/3栄養学科第2回オープンキャンパス
15	16	17	18	19	20	21					
22	23	24	25	26	27	28	8/22~8/24 追再試験	8/22~8/24 追再試験	8/22~8/24 追再試験	↑ 8/13~9/14(うち5日間) 給食経営管理論実習Ⅳ 8/13~9/14(うち15日間) 臨床栄養学実習Ⅴ 8/13~9/14, 5/21~6/8 (うち5日間) 公衆栄養学実習Ⅱ	
29	30	31	1	2	3	4					
5	6	7	8	9	10	11	9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間	9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間	9/3 授業開始(後期) 9/3~7 履修登録変更期間	9/18 授業開始(後期) 9/18~21 履修登録変更期間	9/22 大学院入学試験 9/26PM 戴帽式 9/28 前期卒業・学位記授与式 9/28AM ステップアップセレモニー 9/29第3回オープンキャンパス
12	13	14	15	16	17	18					
19	20	21	22	23	24	25					
26	27	28	29	30	31	1					
2	3	4	5	6	7	8	10/27 土曜開講予定	10/27 土曜開講予定	↑ 10/1~5 ↓ 給食経営管理論実習Ⅱ	10/27 土曜開講予定	10/2 避難訓練
9	10	11	12	13	14	15					
16	17	18	19	20	21	22	9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間	9/10 授業開始(後期) 9/10~14 履修登録変更期間	9/25~26 修養会 9/28 ステップアップセレモニー		10/20 大学院入学試験(前期)
23	24	25	26	27	28	29					11/17 学部入学試験
30	1	2	3	4	5	6					
7	8	9	10	11	12	13	11/10・24 土曜開講予定	11/10・24 土曜開講予定	10/29~11/16 臨床栄養学実習Ⅲ 編3:2/4~3/上の10日間	11/10・24 土曜開講予定	11/27 体育祭 12/8 創立記念日
14	15	16	17	18	19	20					
21	22	23	24	25	26	27					
28	29	30	31	1	2	3	12/1・15 土曜開講予定	12/1・15 土曜開講予定	11/29~30 修養会 12/1・15 土曜開講予定	12/1・15 土曜開講予定	12/18PM クリスマスの集い
4	5	6	7	8	9	10					
11	12	13	14	15	16	17					
18	19	20	21	22	23	24					
25	26	27	28	29	30	1					
2	3	4	5	6	7	8					
9	10	11	12	13	14	15					
16	17	18	19	20	21	22					
23	24	25	26	27	28	29					
30	31	1	2	3	4	5	12/24~1/7 冬季休業				12/25 キリスト降誕祭
6	7	8	9	10	11	12					
13	14	15	16	17	18	19					
20	21	22	23	24	25	26					
27	28	29	30	31	1	2	1/28~2/1 定期試験	1/28~2/1 定期試験	1/28~2/1 定期試験	1/30~2/1 追再試験	1/26 大学院入学試験(後期)
3	4	5	6	7	8	9	2/2~3/31 春季休業	2/2~3/31 春季休業	2/2~3/31 春季休業		2/6・7 学部入学試験
10	11	12	13	14	15	16					2/13 学部入学試験
17	18	19	20	21	22	23	2/21~25追再試験	2/21~25追再試験	2/21~25追再試験		2/20 学部入学試験
24	25	26	27	28	1	2					
3	4	5	6	7	8	9					
10	11	12	13	14	15	16					
17	18	19	20	21	22	23					
24	25	26	27	28	29	30					
31	1	2	3	4	5	6					3/15 卒業・学位記授与式

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

1. 学事暦 (看護栄養学研究科)

2018年度 大学院看護栄養学研究科学事暦

暦							行事予定	全学行事等	臨地実習	
日	月	火	水	木	金	土				
4	1	2	3	4	5	6	7	4/3 入学式・専攻別オリエンテーション 4/4 ガイダンス・定期健康診断 4/5 授業開始(前期) 4/5~11 履修登録期間 4/19 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	4/3 入学式 4/4 ガイダンス・定期健康診断 4/17PM イースターの集い	
	8	9	10	11	12	13	14			
	15	16	17	18	19	20	21			
	22	23	24	25	26	27	28			
5	29	30	1	2	3	4	5	7/5 中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降)		
	6	7	8	9	10	11	12			
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
6	27	28	29	30	31	1	2	7/10~13 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 7/27 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会		6/13~6/22(うち5日間) 公衆衛生看護管理実習Ⅱ (2年次)
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
7	24	25	26	27	28	29	30	8/22 13:00まで 修正済み論文提出		
	1	2	3	4	5	6	7			
	8	9	10	11	12	13	14			
	15	16	17	18	19	20	21			
8	22	23	24	25	26	27	28	9/3 授業開始(後期) 9/3~7 履修登録変更期間		9/3~2/22(週1回) 家族看護継続実習 (1年次)
	29	30	31	1	2	3	4			
	5	6	7	8	9	10	11			
	12	13	14	15	16	17	18			
9	19	20	21	22	23	24	25	9/21 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻2年次以降) 9/28 前期修了 学位記授与式	9/22 大学院入学試験(推薦) 9/28 前期修了・学位記授与式 10/2 避難訓練	
	26	27	28	29	30	31	1			
	2	3	4	5	6	7	8			
	9	10	11	12	13	14	15			
10	16	17	18	19	20	21	22	10/24 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)	10/20 大学院入学試験(前期)	10/15~10/26 公衆衛生看護展開実習 (1年次)
	23	24	25	26	27	28	29			
	30	1	2	3	4	5	6			
	7	8	9	10	11	12	13			
11	14	15	16	17	18	19	20	12/5 17:00 課題研究提出(保健師コース)		11/5~11/16 公衆衛生看護管理実習Ⅰ (1年次)
	21	22	23	24	25	26	27			
	28	29	30	31	1	2	3			
	4	5	6	7	8	9	10			
12	11	12	13	14	15	16	17	12/19 課題研究発表(保健師コース)・論文審査会	12/8 創立記念日 12/18PM クリスマスの集い 12/25 キリスト降誕祭	
	18	19	20	21	22	23	24			
	25	26	27	28	29	30	1			
	2	3	4	5	6	7	8			
1	9	10	11	12	13	14	15	1/15 課題研究最終提出(保健師コース) 1/15~18 学位論文の提出(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)	1/26 大学院入学試験(後期)	1/7~2/1 ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅰ (1年次)
	16	17	18	19	20	21	22			
	23	24	25	26	27	28	29			
	30	31	1	2	3	4	5			
2	6	7	8	9	10	11	12	2/4 学位論文発表会(修士課程・博士前期課程・博士後期課程2年次以降)・論文審査会	2/6・7 学部入学試験	
	13	14	15	16	17	18	19			
	20	21	22	23	24	25	26			
	27	28	29	30	31	1	2			
3	3	4	5	6	7	8	9	2/18 17:00まで 修正済み論文提出	2/13 学部入学試験	
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
	24	25	26	27	28	29	30			
3	31	1	2	3	4	5	6	2/22 後期授業終了	2/20 学部入学試験	
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
	17	18	19	20	21	22	23			
3	24	25	26	27	28	29	30	3/14 修了感謝のミサ 3/15 10:00 学位記授与式	3/14 卒業・修了感謝のミサ 3/15 学位記授与式	
	31	1	2	3	4	5	6			
	3	4	5	6	7	8	9			
	10	11	12	13	14	15	16			
3	17	18	19	20	21	22	23	3/29 17:00まで 研究計画書提出(看護学専攻1年次)		
	24	25	26	27	28	29	30			
	31	1	2	3	4	5	6			
	3	4	5	6	7	8	9			

※ この学事暦の日程は、一部変更することがあります。

2. 2018年度開講科目一覧

1) 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
①共通基礎科目	基礎学修演習	1	前	1			1	
	教養演習	1	後		1		1	
	科学的思考演習	2	前	1			1	
②人間と宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2		
	人間学	1	前	2		2		
	聖書の講読	2	前		▲2	2		
	宗教学	2	前		▲2	2		
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2		
③人間と文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	倫理学	1	後		2	2		
	音楽概論	1	後		2	2		
	美術概論	1	後		2	2		
	民族と異文化理解	1	後		2	2		
④人間と社会	法学（日本国憲法）	1	前		2	2		
	社会学	1	前		2	2		
	現代の経済	1	前		2	2		
	近現代の日本	1	後		2	2		
	生活と福祉	1	後		2	2		
	現代社会と生活	1	後		2	2		
	対人関係の心理学	1	前		2	2		
⑤人間と自然科学	化学	1	前	2		2		
	生物学	1	前		2	2		
	統計処理演習Ⅰ	1	前		1		1	
	統計処理演習Ⅱ	1	後	1			1	
⑥人間と外国語	英語ⅠA	1	前	1			1	
	英語ⅠB	1	後	1			1	
	英語ⅡA	2	前		1		1	
	英語ⅡB	2	後		1		1	
	オーラルイングリッシュⅠA	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュⅠB	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュⅡA	2	前		1		1	
	オーラルイングリッシュⅡB	2	後		1		1	
フランス語	2	前		1		1		
⑦健康とスポーツ	健康とスポーツⅠ	1	前後		1			1
	健康とスポーツⅡ	2	前後		1			1

2) 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病態治療学 I	1	後	2		2		
	病態治療学 II	1	後	2		2		
	看護薬理学	2	前	2		2		
	病態・治療学 III-1	2	前	2		1	1	
	病態・治療学 III-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	前	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
	医療人類学	4	後		1	1		
専門科目	看護学原理	1	前	2		2		
	ヘルスアセスメント	2	前	1			1	
	看護ケア提供システム論	1	後	1		1		
	基礎看護技術論 I	1	前	1		1		
	基礎看護技術論 II	1	後	2			2	
	基礎看護技術論 III	2	前	1			1	
	基礎看護技術論 IV	2	前	2		1	1	
	成人看護学 I	2	前	1		1		
	成人看護学 II	2	後	2			2	
	成人看護学 III	2	後	1			1	
	成人看護学 IV	3	前	2		1	1	
	老年看護学 I	2	前	1		1		
	老年看護学 II	2	後	1			1	
	老年看護学 III	3	前	2			2	
	小児看護学 I	2	後	2		1	1	
	小児看護学 II	3	前	2		1	1	
	母性看護学 I	2	後	2		2		
	母性看護学 II	3	前	2			2	
	精神看護学 I	2	後	2		2		
	精神看護学 II	3	前	2		2		
	精神看護論 III	3	後	1			1	
	在宅看護論 I	3	前	1		1		
	在宅看護論 II	3	後	2		2		
	地域看護学	3	前	1			1	
ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1			
ヘルスプロモーション活動論	3	後		1	1			
リハビリテーション看護学	3	後		1	1			

2) 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	感染看護学	3	後		1	1		
	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	2	後	2				2
	成人看護学臨地実習Ⅰ	3	後	3				3
	成人看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	老年看護学臨地実習Ⅰ	2	後	1				1
	老年看護学臨地実習Ⅱ	3	後	3				3
	母子看護学臨地実習Ⅰ	3	後	1				1
	母子看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	精神看護学臨地実習	4	前	2				2
	在宅看護臨地実習	4	前	2				2
	統合看護臨地実習	4	後	2				2
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	事例研究	4	前後	2			2	
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護管理	4	後	1		1		
	統合看護技術演習	4	前	1			1	
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	看護英文講読	3	後		1	1		
	看護教育学	4	前		1	1		
	国際医療援助論	4	後		1	1		
	災害医療援助論	4	後		1	1		
	合同特別演習	4	後		1		1	
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1	前	1		1		
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2	後	1		1		
人間形成とキャリアデザインⅢ	3	後	1		1			

3) 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	人間関係論	1・編3	前	1		1		
	公衆衛生学	2	前	2		2		
	健康管理概論	2・編3	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	4・編4	前	1		1		
	公衆衛生学実習	2・編3	後	1				1
	生涯発達論	1・編4	前	2		2		
	医療概論	2	前		2	2		
	生化学 I	1	後	2		2		
	生化学 II	2・編3	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病理学	2・編3	前	2		2		
	微生物学	1・編3	後	2		2		
	病態診療学 I	2・編3	後	2		2		
	病態診療学 II	3・編3	前	2		2		
	生化学実験	2	前	1				1
	形態機能学実習 I	1	後	1				1
	形態機能学実習 II	3・編3	後	1				1
	有機化学	1	前		2	2		
	食品科学 I	1	前	2		2		
	食品科学 II	1・編3	後	2		2		
	調理学	1	前	2		2		
	食品衛生学	2	前	2		2		
	食品科学実験 I	1	後	1				1
	食品科学実験 II	3・編3	前	1				1
	調理学実習 I	1	前	1				1
調理学実習 II	1	後	1				1	
食品衛生学実験	2	前	1				1	
食品微生物学実験	2・編3	前	1				1	
食品科学 III	2・編4	後		2	2			
環境食事論	4・編4	後		1	1			
食文化論	4・編4	後		1	1			
専門科目	管理栄養士論	1・編3	前	1		1		
	基礎栄養学	1	後	2		2		
	基礎栄養学実験・実習	2・編3	後	1				1
	応用栄養学 I	2・編3	前	2		2		
	応用栄養学 II	2	後	2		2		
	応用栄養学 III	3・編3	後	2		2		
	応用栄養学実習	3・編3	前	1				1
国際栄養学	4・編4	後		1	1			

3) 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	免疫と栄養	3	後		1	1		
	スポーツ栄養学	3	後		1	1		
	栄養教育論Ⅰ	2	前	2		2		
	栄養教育論Ⅱ	2・編3	後	2		2		
	栄養教育論Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	栄養教育論実習	3	前	1				1
	カウンセリング演習	3	前		1		1	
	臨床栄養学Ⅰ	2・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅱ	3	前	2		2		
	臨床栄養学Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅳ	4・編4	前	2		2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3・編3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅳ	4・編4	前	1				1
	公衆栄養学Ⅰ	3	前	2		2		
	公衆栄養学Ⅱ	3・編3	後	2		2		
	公衆栄養学実習Ⅰ	3・編3	後	1				1
	地域栄養活動演習	4・編4	前		1		1	
	栄養・看護演習	3・編3	前	1			1	
	給食経営管理論Ⅰ	2	前	2		2		
	給食経営管理論Ⅱ	2・編3	後	2			2	
	給食経営管理論実習Ⅰ	2	後	1				1
	フードサービス論	4・編4	前		1	1		
	フードサービス実習	4・編4	前		1			1
	総合演習Ⅰ	3・編3	前後	1			1	
	総合演習Ⅱ	4・編4	前後	2			2	
	食といのちのゼミ	4・編4	後	1			1	
	英文文献講読	3	後		1		1	
	合同特別演習	4・編4	前後		1		1	
	卒業研究	4・編4	前後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅱ（学外実習）	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅲ（学外実習）	3・編3	後	2				2
公衆栄養学実習Ⅱ（学外実習）	4・編4	前後		▲1			1	
給食経営管理論実習Ⅲ（学外実習）	4・編4	前		▲1			1	
臨床栄養学実習Ⅴ（学外実習）	4・編4	前後		3			3	
給食経営管理論実習Ⅳ（学外実習）	4・編4	前後		1			1	
学校栄養指導論Ⅰ	3	前		2	2			
学校栄養指導論Ⅱ	3	後		2	2			

4) 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	教育課程論	1	後		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習	4	前後		2		2	
	教職総合演習	3	後		2		2	

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

5) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	倫理学特論	1	後	1		1		
	統計学特論	1	前	1			1	
	疫学	1	前	1		1		
	人間関係論特論	1	後		1	1		
	研究方法論特論	1	前	2		2		
	医療情報・管理学特論	1	後		1	1		
専門基礎科目	食品衛生学特論	1	前	2		2		
	代謝栄養学特論	1	後	2		2		
	地域ケアシステム論	1	後		1	1		
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1		1	
	環境保健学	1	前		1	1		
	栄養免疫学特論	1・2	後		2	2		
専門実践科目	栄養管理学特論	1	前	2		2		
	栄養疫学特論	1	後		1	1		
	健康行動科学特論	1	前	1		1		
	健康・食行動理論	1	前		1	1		
	栄養診断学特論	1	後	2		2		
	栄養管理学総合演習	1	前後	2			2	
	臨床栄養学特論	1	前	2		2		
	栄養管理学特別研究	1~2	前後	4				4
	栄養管理学特別演習	1~2	前後	4			4	

6) 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研究方法特論	1	前後	4		4		
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論	1	前後		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12

7) 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻 (修士課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		高度実践看護師コース		保健師コース		授業区分		
				単位数		単位数		単位数		講義	演習	実習
				必修	選択	必修	選択	必修	選択			
看護学・ 共通科目 栄養管理 学専攻	倫理学特論	1	後	1		1		○	1		1	
	人間関係論特論	1	後		1		1			1		
	研究方法論特論	1	前	2		2		○	2		2	
	統計学特論	1	前		1		1		1			1
	疫学	1	前		1		1		1		1	
	地域ケアシステム論	1	後		1		1		1		1	
	健康行動科学特論	1	前		1		1		1		1	
	医療情報・医療経済	1	後		1		1			1	1	
	国際保健学特論	2	前		1		1			1	1	
看護学専攻 共通基礎 科目	看護理論特論	1	前	2		2		○	2		2	
	看護倫理特論	1	後	1		1		○		1	1	
	看護研究法Ⅰ (量の研究)	1	後		1		1			1		1
	看護研究法Ⅱ (質の研究)	1	後		1		1			1		1
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2	2		○	2	2		
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1		1			1		1
	看護管理学特論	1	後		2	2		○		2	2	
	家族関係論特論	1	前		1		1		1		1	
	コンサルテーション論	1	後		1		1		○		1	1
専門 基礎 科目	薬理学特論	1	前		2		2			2	2	
	フィジカルアセスメント	1	後			2		○			2	
	病態生理学	1	前		2	2		○		2	2	
	臨床薬理学	1	前		2	2		○		2	2	
	精神病理学特論	1	前		2		2			2	2	
	保健医療福祉政策論	1~2	後		1		1	○	1		1	
	保健医療福祉行政論	1	前		3				3		3	
	疫学・保健統計特論	1	前		2				2		2	
	ヘルスカウンセリング論	1	前		1		1		1			1
	代謝栄養学特論	1	後		2		2			2	2	
	環境保健学	1	前		1		1			1	1	
	健康社会学	2	前		1		1			1	1	
	医療人類学特論	2	前		1		1			1	1	
専 門 科 目	保健師 コース	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前	2					2	2	
		公衆衛生看護学原論	1	前						2	2	
		公衆衛生看護活動論Ⅰ	1	前						2	2	
		公衆衛生看護活動論Ⅱ	1	後						2	2	
		健康学習支援演習	1	後						1		1
		家族看護学特論	1	前						2	1	1
		公衆衛生看護診断	1	後						2	1	1
		公衆衛生看護管理	1	後						2	2	
		健康危機管理特論	1	後						1		1
		公衆衛生看護課題研究演習	1	後						2		2
		家族看護継続実習	1	後						1		
		公衆衛生看護展開実習	1	後						2		2
		公衆衛生看護管理実習Ⅰ	1	後						2		2
		産業・学校看護活動論	2	前						2		2
	地域ケアシステム論特論	2	前						2		2	
	公衆衛生看護管理実習Ⅱ	2	前						1			
	成人 看護 学 コース	成人看護学特論Ⅰ	1	前	2						2	
		成人看護学特論Ⅱ	1	前	2						2	
		成人看護学演習Ⅰ	1	前	2							2
		成人看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2							2
ホスピス 緩和 ケア 看 護	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ	1	前			2		○			2	
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ	1	後			2		○			2	
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	1~2	後前			2		○				2
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅳ	1	後			2		○			2	
	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅴ	1	前			2		○			2	
	ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ	1	前後			2		○		1	1	
	ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ	1	後			1		○			1	
	ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ	2	前			1		○			1	

護学	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅰ	1	後			4		○				4
	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅱ	2	前			4		○				4
	ホスピス緩和ケア看護学実習Ⅲ	2	前			2		○				2
公衆衛生看護課題研究		2	前後						4			4
ホスピス緩和ケア課題研究		2	前後				2		4			2

3. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2018年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率	
看護栄養学部	看護学科		348	102	91 (2)	97 (7)	91 (8)	381 (17)	109.5%	
	栄養学科		350	99 (1)	88 (2)	93 (4)	84 (1)	364 (8)	104.0%	
		(うち編入生)	10	—	—	3	2	5 (0)	50.0%	
	小計			698	201 (1)	179 (4)	190 (11)	175 (9)	745 (25)	106.7%
助産大学院科	助産専攻	助産基礎分野	60	15	—	—	—	30	—	50.0%
		助産教育分野	20	1	—	—	—	1	—	5.0%
	小計			80	16	—	—	31	—	38.8%
看護栄養学大学院	看護学専攻	公衆衛生看護学コース	28	0	0	—	—	0 (0)	46.4%	
		精神看護学コース		0	0	—	—	0 (0)		
		成人看護学コース		1	0	—	—	1 (0)		
		ホスピス緩和ケア看護学コース		2	2	—	—	4 (0)		
		保健師コース		6	2	—	—	8 (0)		
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	1	1 (1)	—	—	2 (1)	33.3%	
		博士後期課程	6	3 (1)	0	2	—	5 (1)	83.3%	
	小計			40	13 (1)	5 (1)	2 (0)	—	20 (2)	50.0%
合計			818	230 (2)	199 (5)	192 (11)	175 (9)	796 (27)	97.3%	

社会人学生数

(2018年5月1日現在)

所属	学科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科					0 (0)
	栄養学科					0 (0)
	小計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

奨学金の種類と採用数（学部生） 2019年3月現在

	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
			月 額			
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	37人
	日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	自宅 54,000円 自宅外 64,000円 上記以外に月額20,000円～50,000円まで、1万円単位で選択することができます (自宅通学の方は50,000円選択不可)	無利子貸与	155人
		第二種	月 額	月額20,000円～120,000円まで、1万円単位で選択することができます。	有利子貸与 利率3%以内	186人
		給付	月 額	自宅 30,000円 自宅外 40,000円	給付、返還不要	6人
1～2年次生			月 額			
2年次生以上	天使大学シスター川原ユキエ記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	10人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	19人
	天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	0人
2～4年次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	7人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	2人
全学生	その他の奨学金		札幌市奨学生(2)、交通遺児育英会奨学金、クローバー奨学金 ほか			16人
合 計						438人

奨学金の種類と採用数（看護栄養学研究科） 2019年3月現在

奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円または50,000円	無利子貸与	1人
日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	50,000円または88,000円	無利子貸与	3人
	第二種	月 額	50,000円、80,000円 100,000円、130,000円 150,000円	有利子貸与 利率3%以内	0人
天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	0人
北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上勤務の場合返還免除	1人
その他の奨学金					0人
					5人

4. 国家試験合格率

国家試験合格率（2018年度）

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
看護栄養学部看護学科	看護師国家試験	87 人	84 人	96.6%	94.7%
看護栄養学研究科看護専攻	保健師国家試験	2 人	2 人	100.0%	88.1%
助産研究科助産専攻	助産師国家試験	13 人	13 人	100.0%	99.9%
看護栄養学部栄養学科	管理栄養士国家試験	83 人	78 人	94.0%	95.5%

5. 就職・進学状況

看護栄養学部就職状況（2019年5月1日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	59	90.8%	6	9.2%	65	74.7%	78	98.7%	1	1.3%	79	95.2%
	希望無しの者	21	95.5%	1	4.5%	22	25.3%	4	100.0%	0	0.0%	4	4.8%
計(卒業生数)		80	92.0%	7	8.0%	87	100.0%	82	98.8%	1	1.2%	83	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		59	100.0%	6	100.0%	65	100.0%	77	98.7%	1	100.0%	78	98.7%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科 n=65					栄養学科 n=78						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	21	35.6%	3	50.0%	24	36.9%	9	11.7%	0	0.0%	9	11.5%
	道内	38	64.4%	3	50.0%	41	63.1%	68	88.3%	1	100.0%	69	88.5%
	市内(再掲)	(35)	(59.3%)	(3)	(50.0%)	(38)	(58.5%)	(52)	(67.5%)	(1)	100.0%	(53)	(67.9%)
職種別	看護師	58	98.3%	6	100.0%	64	98.5%						
	管理栄養士							41	53.2%	0	0.0%	41	52.6%
	栄養士							10	13.0%	0	0.0%	10	12.8%
	栄養教諭							6	7.8%	0	0.0%	6	7.7%
	上記以外	1	1.7%	0	0.0%	1	1.5%	20	26.0%	1	100.0%	21	26.9%

〔進学状況〕

学科		看護学科					栄養学科						
性別		女子		男子		計	女子		男子		計		
項目		数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合
進学希望者数			21		0	21			1		0	1	
進学合格者数			21		0	21	100.0%		1		0	1	100.0%

5. 就職・進学状況

看護栄養学研究科就職状況（2019年5月1日現在）

〔就職希望者〕

所属		看護学専攻					栄養管理学専攻				看護栄養学研究科		
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		計	博士前期課程		計		合計		
項目		数	割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	割合	数	修了者に対する割合	数	修了者に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	2	50%	2	50%	4	100%	1	100%	1	100.0%	5	100.0%
	希望無しの者	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0.0%
計(修了者数)		2	50%	2	50%	4	100%	1	100%	1	100.0%	5	100.0%

〔就職決定者〕

所属		看護学専攻					栄養管理学専攻				看護栄養学研究科		
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		計	博士前期課程		計		合計		
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	就職希望者に対する割合
就職者数/決定率		2	50%	2	50%	4	1000.0%	1	100%	1	100.0%	5	100.0%

〔地域別決定者〕

所属		看護学専攻					栄養管理学専攻				看護栄養学研究科		
専攻		保健師コース		ホスピス緩和ケア看護学コース		計	博士前期課程		計		合計		
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	0	0%	0	0%	0	0.0%	0	0%	0	0.0%	0	0.0%
	道内	2	50%	2	50%	(4)	100.0%	1	100%	1	100.0%	5	100.0%
	市内(再掲)	(2)	100%	(2)	100%	(4)	100.0%	(0)	0%	(0)	(0.0%)	(4)	(80.0%)

2018年度求人件数・人数（2019年3月31日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
看護師	49	105	192	297	1,043	1,803	8,776	10,579
保健師	3	131	23	154	10	218	114	332
助産師	12	35	99	134	33	97	545	642
計	64	271	314	585	1,086	2,118	9,435	11,553

〔栄養士職〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
栄養士	49	78	40	118	554	589	2,903	3,492
管理栄養士	60	152	52	204	635	760	2,518	3,278
栄養教諭	4	12	3	15	12	24	9	33
食品衛生監視員	3	3	1	4	5	5	20	25
その他 保健医療従事者	4	10	4	14	8	53	303	356
計	120	255	100	355	1,214	1,431	5,753	7,184

〔一般職・その他〕

職 種	件 数				人 数			
	(市内)	道内	道外	件数合計	(市内)	道内	道外	人数合計
一般	87	154	149	303	1,066	1,709	5,996	7,705
合計	271	680	563	1,243	3,366	5,258	21,184	26,442

注1 (市内)は道内の内数

注2 若干名は3とカウントする

注3 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

6. 2019年度入試結果

2019年度天使大学・大学院入学試験結果

看護栄養学部

* () は、昨年度の数字です

◆看護学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	40	5	(6)	5	(6)	5	(6)	5	(6)	1.0
公募制推薦		46	(53)	46	(53)	35	(35)	35	(35)	1.3
社会人	37	3	(2)	3	(2)	0	(0)	0	(0)	—
一般		289	(296)	285	(293)	94	(85)	46	(36)	3.0
センター利用	10	180	(132)	180	(132)	28	(36)	10	(25)	6.4
総計	87	523	(489)	519	(486)	162	(162)	96	(102)	3.2

◆栄養学科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
指定校推薦	42	3	(4)	3	(4)	3	(4)	3	(4)	1.0
公募制推薦		51	(43)	51	(43)	39	(38)	39	(38)	1.3
社会人	33	1	(0)	1	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般		69	(89)	69	(89)	44	(45)	37	(44)	1.6
センター利用	10	52	(68)	52	(68)	12	(16)	10	(13)	4.3
総計	85	176	(204)	176	(204)	98	(103)	89	(99)	1.8

大学院 看護栄養学研究科

◆看護学専攻

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
推薦	14	3	(0)	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.0
一般前期		7	(8)	7	(8)	5	(8)	5	(8)	1.4
一般後期		3	(2)	3	(2)	3	(1)	3	(1)	1.0
老年看護CNS		1	—	1	—	1	—	1	—	1.0
総計	14	14	(10)	13	(10)	11	(9)	11	(9)	1.2

◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般前期	3	2	(0)	2	(0)	1	(0)	1	(0)	2.0
一般後期		3	(1)	2	(1)	1	(1)	1	(1)	2.0
総計	3	5	(1)	4	(1)	2	(1)	2	(1)	2.0

◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)
一般前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
一般後期		0	(3)	0	(3)	0	(3)	0	(3)	—
総計	2	0	3	0	3	0	3	0	3	—

大学院 助産研究科

試験種別	定員(名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率(受/合)	
基礎分野	推薦	10	11	(5)	10	(5)	10	(4)	10	(4)	1.0
	前期一般	15	10	(7)	9	(7)	8	(7)	8	(7)	1.1
	前期社会人		2	(4)	2	(4)	1	(4)	1	(4)	2.0
	後期一般	5	2	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)	1.0
	後期社会人		0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
分教野育	前期	10	2	(1)	2	(1)	2	(0)	2	(0)	1.0
	後期		0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
総計	40	27	(19)	25	(19)	23	(17)	22	(17)	1.1	

7. 教員組織

教員組織一覽

(2018年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	8人	0人	0人	3人	0人	11人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	33人
看護栄養学部	看護学科	5人	9人	6人	8人	4人	32人
	栄養学科	7人	6人	5人	2人	3人	23人
	教養教育科	3人	3人	0人	0人	0人	6人
	計	15人	18人	11人	10人	7人	61人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	93人
合計		23人	18人	11人	13人	7人	198人

専任教員年齢構成

(2018年5月1日現在)

所属	職位	71歳 以上	66歳～ 70歳	61歳～ 65歳	56歳～ 60歳	51歳～ 55歳	46歳～ 50歳	41歳～ 45歳	36歳～ 40歳	31歳～ 35歳	26歳～ 30歳	25歳 以下	計
助産研究科	教授	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	7
		14.3%	0.0%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	講師	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%
	助教	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
計	1	0	4	2	2	0	1	0	1	0	0	11	
	9.1%	0.0%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
小計	1	0	4	2	2	0	1	0	1	0	0	11	
	9.1%	0.0%	36.4%	18.2%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	1	9	5	0	2	1	0	0	0	0	0	18
		5.6%	50.0%	27.8%	0.0%	11.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	3	2	6	3	1	0	0	0	0	15
		0.0%	0.0%	20.0%	13.3%	40.0%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	2	3	2	5	0	0	0	0	12
		0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	16.7%	41.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	3	2	3	3	0	0	0	11
0.0%		0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
計	1	9	8	4	14	8	9	3	0	0	0	56	
	1.8%	16.1%	14.3%	7.1%	25.0%	14.3%	16.1%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	100%	
小計	1	9	8	4	14	8	9	3	3	1	0	60	
	1.7%	15.0%	13.3%	6.7%	23.3%	13.3%	15.0%	5.0%	5.0%	1.7%	0.0%	100%	
合計	2	9	12	6	16	8	10	3	4	1	0	71	
	2.8%	12.7%	16.9%	8.5%	22.5%	11.3%	14.1%	4.2%	5.6%	1.4%	0.0%	100%	

※定年：65歳

教員の任免・昇任者一覧

(2019年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	講師から 准教授	助教から 講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	1人	0人	0人	1人	0人	0人	2人	0人	0人	0人	0人	0人
看護学科	5人	0人	0人	4人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人
栄養学科	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
教養教育科	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	6人	0人	0人	5人	1人	0人	3人	0人	1人	0人	0人	0人

8. 事務組織

(2018年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託 職 員	臨時職員	派遣職員	そ の 他	計
			うち管理職					
法人 業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	0	0	0	1
大学 業務系	総務課	3	1	5	1	0	0	9
	学務課	5	0	5	1	0	2	13
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	3	1	2	1	0	5	11
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	18	4	16	3	0	7	44
合 計		18	4	17	3	0	7	45

9. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

		種別	研究代表者	研究課題
1	継続	基盤研究(C)	小澤 芳子	若年認知症の親を持つ子どもへの支援の構築
2	継続	基盤研究(C)	鹿内 信善	聴覚障害児の言語活動を充実させる看図アプローチを用いた教材開発・授業開発
3	継続	基盤研究(C)	松下 真美	ω 3脂肪酸のヒト褐色脂肪に対する作用とその抗メタボ効果
4	新規	基盤研究(C)	田中 さおり	SGA性低身長症児と家族のGH療法をシームレスに支える看護支援プログラムの開発
5	新規	基盤研究(C)	中田 かおり	正期産期の血圧の安定につながる妊婦の水とくらしに関する研究
6	新規	基盤研究(C)	吉田 礼維子	住民の視点による介護予防システムの評価指標の開発と有用性の検討
7	新規	若手研究	高桑 暁子	離乳食の新しい指標としての α ディフェンシンによる腸内細菌叢制御の解明

特別研究費の助成状況

		種別	研究代表者	研究課題
1		特別研究費	新谷 恵子	看護基礎教育における能動的学習支援の可能性
2		特別研究費	小澤 芳子	模擬患者（Simulated Patient）養成プログラムの開発
3		特別研究費	重岡 妙	患者－看護者関係における看護学生の振り返り－プロセスレコードの内容の分析－
4		特別研究費	河嶋 亜衣	初産婦に対する産後早期の睡眠教育プログラムの開発
5		特別研究費	小澤 涼子	女性新規就農者が新たな生活を通して健康を獲得するプロセス
6		特別研究費	鈴木 純子	糖質制限食摂取後の代謝変化に摂取時間帯が及ぼす影響－夕食時における健常者を対象とした糖質制限食の影響に焦点を当てて－

受託研究等

	種別	代表者	担当者	研究・事業名
1	奨学寄付	鈴木 純子	－	天使大学看護栄養学部栄養学科および看護栄養学研究科栄養管理栄養学専攻における教育研究の発展の寄与に対する助成
2	受託研究	鈴木 純子	－	鰹だし汁のヒト介入試験による機能性評価

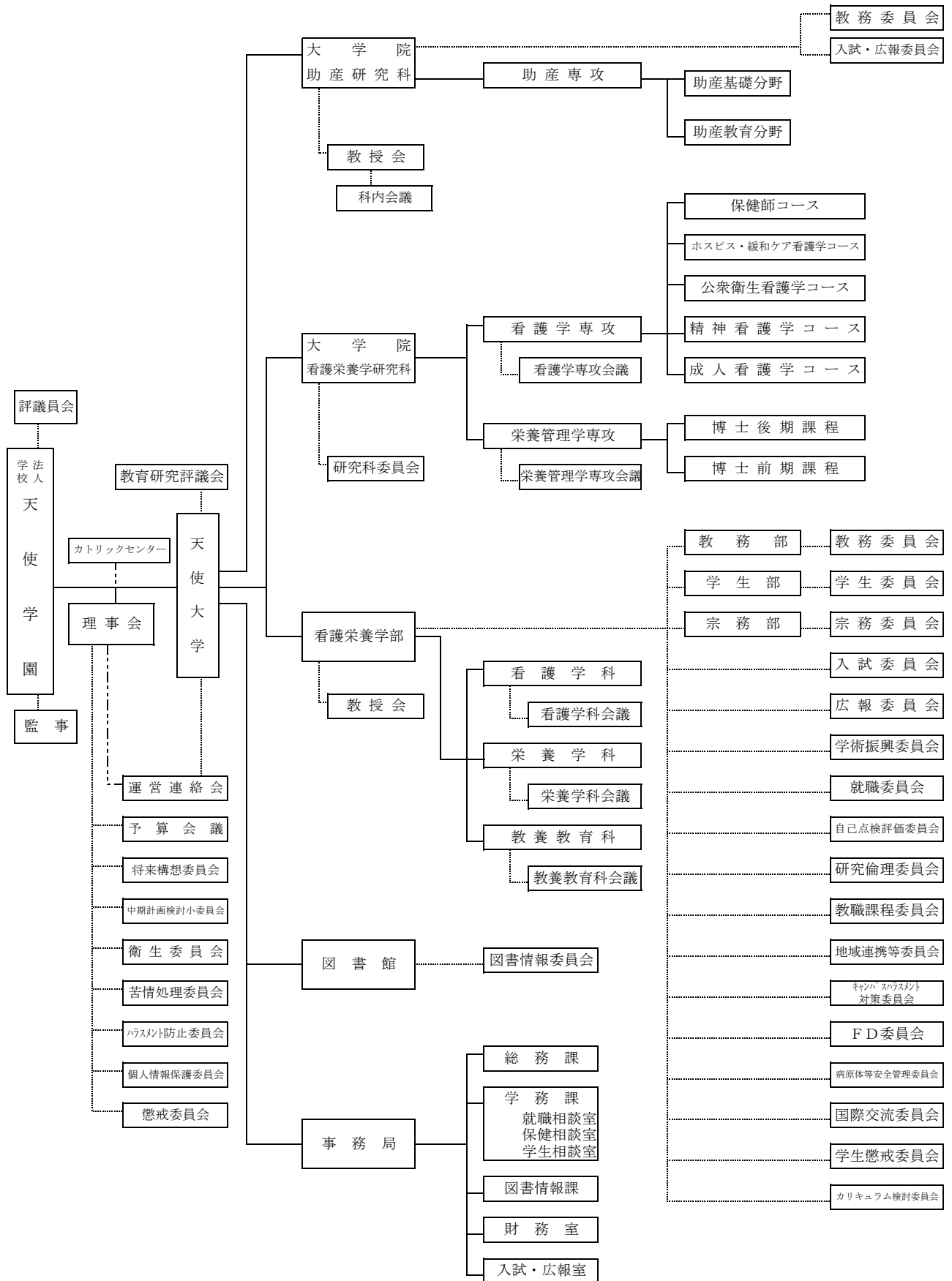
その他の活動

分類	活動内容
札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携	2018年度は、学部生による「広報さっぽろ東区版及びホームページでのレシピの紹介」、「食育推進ネットワーク事業への参加」、「天使祭での健康相談・地域の健康づくり活動の紹介」、「東区若者向け料理教室」など、7事業に参加しました。
天使大学、札幌大谷大学、北海道体育大学校、札幌保健医療大学および札幌市東区による地域連携協定	札幌市東区、天使大学、札幌大谷大学、札幌保健医療大学及び北海道体育大学校による地域連携協定に基づき、2018年10月21日につどーむで開催された地域住民向けのスポーツイベントにおいて、「天使大の健康塾」を設け、看護栄養学部の学生たちが参加者への食事のアドバイスや血圧測定を行いました。

10. 組織図

学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科
 天使大学大学院 看護栄養学研究科
 天使大学 看護栄養学部



11. 会議の開催状況

看護栄養学部教授会

開催日時	議 案 名
臨時 4月2日(月) 13:27	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 ①2018年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験の追加合格について ②2018年度校務分掌・委員会一覧について 3. 意見聴取事項 なし
第1回 4月10日(火) 17:10	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 ①2018年度アッセンブリー・アワーの実施について ②2018年度イースターの集い、今後のミサについて ③2018年度学校医（内科医・精神神経科医）について ④2017年度学生の英語力の変化について ⑤2018年度事業計画及び予算について ⑥休学・退学の許可について 3. 意見聴取事項 なし
第2回 5月16日(水) 17:10	1. 審議事項 ①2019年度看護栄養学部学生募集要項及び指定校推薦入学試験学生募集要項について ②2018年度既修得単位の認定・単位授与について 2. 報告事項 ①2018年度教員免許状更新講習の実施について ②新入学生に対する英語および化学・生物のテストについて ③2018年度天使祭について ④2018年度葦の会役員、部活動団体について ⑤天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について ⑥2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ⑦2018年度科学研究費助成事業の交付状況について ⑧研究生の受入れ終了について ⑨休学・退学の許可について ⑩在籍者数（2018年5月1日現在）について ⑪2019年の卒業証書・学位記授与式・入学式の日程について ⑫キャンパス整備プロジェクトの実施に伴う対応について

	<p>⑬教員の退職について</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第3回</p> <p>6月12日(火)</p> <p>16:58</p>	<p>1. 審議事項 なし</p> <p>①2018年度非常勤講師の委嘱取消について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①再試験の取扱いについて</p> <p>②2018年度のFD研修会について</p> <p>③参与の採用について</p> <p>④看護栄養学部の入学定員について</p> <p>⑤学業成績優秀者奨励金対象者について</p> <p>⑥休学の許可について</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第4回</p> <p>7月10日(火)</p> <p>16:55</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度看護栄養学部外国人留学生入学試験要綱について</p> <p>②2018年度体育祭の日程変更について</p> <p>③2019年度合唱コンクールについて</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018年度特別研究費の採択について</p> <p>②休学の許可について</p> <p>③情報処理室利用者のための飲食可能スペースの紹介について</p> <p>④先行工事のスケジュール及び引越等について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>8月2日(木)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項 なし</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①教員の採用に係る募集大綱について</p>
<p>第5回</p> <p>9月11日(火)</p> <p>17:05</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2018年度既修得単位の認定・単位授与について</p> <p>②2018年度看護学科の前期卒業判定について</p> <p>③2019年度非常勤講師の委嘱変更について</p> <p>④2018年度海外研修旅行の実施について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018年度教職員修養会の日時について</p> <p>②2018年度後期宗務行事予定について</p> <p>③大学基準協会認証評価実地調査について</p> <p>④休学・復学・退学の許可について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ⑤2018 年度戴帽式の実施について ⑥2018Food and Life Step-up Ceremony の実施について ⑦2018 年度前期卒業証書・学位記授与式の実施について ⑧2019 年度人事方針について <p>1. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
<p>第6回 10月9日(火) 17:02</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①入学者の追跡調査の実施について ②緊急連絡網の作成及び運用について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①休学・退学の許可について <p>3. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
<p>第7回 11月13日(火) 16:50</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2020 年度入学試験日程について ②2020 年度入学式日程について ③2019 年度非常勤講師の委嘱について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度クリスマス関連行事の予定について ②2018 年度特別研究費による研究報告会について ③2018 年度体育祭の実施について ④被災した 2019 年度入学志願者に関する入学検定料・入学金・授業料の減免について ⑤災害危機管理マニュアルの作成に向けたワーキンググループの設置について ⑥天使大学キャンパス・マスタープラン 2018 (案) について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時 11月21日(水) 17:00</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度推薦入学試験及び社会人入学試験における合否判定について <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学生の懲戒について
<p>第8回 12月11日(火) 16:53</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度非常勤講師の委嘱について ②2019 年度学事暦 (案) について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①FD委員会で検討中の事項について ②東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟 (Association of Southeast

	<p>and East Asian Catholic Colleges and Universities : ASEACCU) の加盟について</p> <p>③教員の採用及び雇用契約更新について</p> <p>④看護学科定員増に関する対応状況について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第9回</p> <p>1月15日(火)</p> <p>16:20</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①教員の採用について</p> <p>②危機管理マニュアルについて</p> <p>③授業概要の作成要領について</p> <p>④2018年度活動報告会の開催について</p> <p>⑤内部質保証に関する講演会について</p> <p>⑥2018年度第2回FD研修会について</p> <p>⑦「天使祭+ (プラス) 2019」の実施について</p> <p>⑧2018年度3月の宗務行事予定について</p> <p>⑨節電対策の一時的解除について</p> <p>⑩看護学科定員増に関する理事会での再審議について</p> <p>⑪栄養学科定員増に関する理事会での再審議について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第10回</p> <p>2月12日(火)</p> <p>16:50</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度一般入学試験(栄養学科)の合否判定について</p> <p>②2021年度入学者選抜(案)について</p> <p>③2019年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>④天使大学看護栄養学部履修規程の一部改正について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①看護栄養学部の入学定員の改訂について</p> <p>②2018年度卒業証書・学位記授与式実施要領について</p> <p>③教員の採用及び昇任について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>2月15日(金)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度一般入学試験(看護学科)の合否判定について</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①看護学科及び栄養学科の入学定員及び収容定員の改正並びに栄養学科編入 学の廃止に伴う「天使大学学則」の一部改正について</p>
<p>臨時</p> <p>2月22日(金)</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019年度大学入試センター試験利用入学試験の合否判定について</p>

16:30	2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
臨時 2月26日(火) 16:50	1. 審議事項 ①2018年度卒業判定について ②2018年度教職課程修了判定について ③2019年度科目等履修生の受入れについて 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第11回 3月14日(木) 16:30	1. 審議事項 ①2019年度 既修得単位の認定・単位授与について ②2018年度進級判定について ③2019年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について ④看護栄養学部 2020年度(2019年度実施)以降入学試験における合否判定会議(案)について ⑤2021年度 入学者選抜(案)について ⑥授業料未納に伴う除籍について 2. 報告事項 ①専任教員の新規授業科目の担当について ②2019年度 合唱コンクールの実施について ③2019年度入学式実施要領について ④教員の雇用契約の更新について ⑤教員の退職について ⑥休学・復学・退学の許可について ⑦学生の懲戒に関する規程の改正について ⑧学生の自宅火災に対する本学としての対応について ⑨「天使大学研究活動における不正行為への対応に関する規程」の改正について 3. 意見聴取事項 ①天使大学看護栄養学部履修規程の一部改正について

大学院助産研究科教授会

開催日時	議 案 名
第1回 4月11日(水) 16:30	1. 審議事項 ①3ポリシーの策定について ②臨床教授制度の検討に関するワーキンググループの設置について 2. 報告事項 ①2018年度イースターの集い、毎週のミサについて ②2018年度合唱コンクールの実施について

	<p>③2018 年度学校医（内科医・精神神経科医）について</p> <p>④2018 年度事業計画及び予算について</p> <p>⑤休学・復学の許可について</p> <p>⑥2018 年度校務分掌・委員会一覧について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 2 回</p> <p>5 月 16 日(水)</p> <p>15:00</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019 年度助産研究科学生募集要項について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2017 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者について</p> <p>②天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について</p> <p>③2018 年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について</p> <p>④2018 年度科学研究費助成事業の交付状況について</p> <p>⑤在籍者数（2018 年 5 月 1 日現在）について</p> <p>⑥2019 年の卒業証書・学位記授与式・入学式の日程について</p> <p>⑦キャンパス整備プロジェクトの実施に伴う対応について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 3 回</p> <p>6 月 6 日(水)</p> <p>15:33</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①助産研究科映像作成について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①8 号館 2 階院生学習室の先行工事について</p> <p>②参与の採用について</p> <p>③2018 年度 F D 研修会について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 4 回</p> <p>7 月 13 日(金)</p> <p>15:03</p>	<p>1. 審議事項 なし</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度特別研究費の採択について</p> <p>②先行工事のスケジュール及び引越等について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 5 回</p> <p>9 月 12 日(水)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2018 年度科目等履修生の後期履修科目追加について</p> <p>②2018 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>③助産研究科入学試験合否判定基準の一部改正について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度教職員修養会の日時について</p> <p>②2018 年度後期宗務行事予定について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p>	<p>1. 審議事項</p>

9月26日(水) 15:35	①2019年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第6回 10月10日(水) 16:30	1. 審議事項 なし ①2020年度入学試験日程について ②緊急連絡網の作成及び運用について 2. 報告事項 ①2019年度人事方針について ②退学の許可について 3. 意見聴取事項 ①教員の採用に係る募集大綱について
臨時 10月24日(水) 16:38	1. 審議事項 ①2019年度助産研究科前期入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第7回 11月14日(水) 15:03	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 ①2018年度クリスマス関連行事の予定について ②休学の許可について ③災害危機管理マニュアルの作成に向けたワーキンググループの設置について ④天使大学キャンパス・マスタープラン2018(案)について 3. 意見聴取事項 なし
第8回 12月12日(水) 15:03	1. 審議事項 ①2019年度非常勤講師の委嘱について ②2019年度天使大学大学院助産研究科学事暦(案)について ③2020年度入学式日程等について 2. 報告事項 ①FD委員会で検討中の事項について ②東アジア及び東南アジアカトリック大学連盟(Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities: ASEACCU)の加盟について ③教員の雇用契約更新について 3. 意見聴取事項 なし
第9回 1月30日(水) 15:00	1. 審議事項 ①2019年度助産研究科入学試験(後期)の合否判定について 2. 報告事項 ①嘱託教員の採用について

	<ul style="list-style-type: none"> ②教員の退職について ③危機管理マニュアルについて ④2018 年度活動報告会の開催について ⑤内部質保証に関する講演会について ⑥2018 年度第 2 回 FD 研修会について ⑦2018 年度 3 月の宗務行事予定について ⑧節電対策の一時的解除について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 10 回</p> <p>2 月 20 日 (水)</p> <p>16:28</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度非常勤講師の委嘱について ②2019 年度国際助産学実習の実習場所変更の教員派遣について ③天使大学大学院助産研究科臨床教授等の称号付与に関する規程（案）について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度卒業証書・学位記授与式実施要領について ②2019 年度研究室の配置換えに伴う 8 号館研究室の変更について <p>3. 意見聴取事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員の採用に係る募集大綱について
<p>臨時</p> <p>2 月 27 日 (水)</p> <p>16:33</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度助産基礎分野の修了判定について <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 11 回</p> <p>3 月 19 日 (火)</p> <p>16:34</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度授業科目開講期の一部変更について ②2019 年度非常勤講師の委嘱について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度授業科目担当者について ②2019 年度合唱コンクールの実施について ③2019 年度入学式実施要領について ④退学の許可について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>

大学院看護栄養学研究科委員会

開催日時	議 案 名
<p>第 1 回</p> <p>4 月 10 日 (火)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度看護栄養学研究科開講科目一覧について ②2018 年度非常勤講師の委嘱・変更・取消について <p>2. 報告事項</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度校務分掌・委員会一覧について ②休学の許可について ③2018 年度看護学専攻新任教員新規担当科目について ④2018 年度看護学専攻研究計画審査及び発表会の実施について ⑤2018 年度栄養管理学専攻博士前期・後期課程新入学生の研究指導教員について ⑥2018 年度事業計画及び予算について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 2 回 5 月 16 日 (水) 16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①天使大学大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について ②2019 年度看護栄養学研究科学生募集要項について ③2018 年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査及び指導教員について ④2018 年度非常勤講師の委嘱・取消について ⑤2018 年度非常勤講師の取消について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度科学研究費助成事業の交付状況について ②2017 年度日本学生支援機構大学院第一種奨学金返還免除候補者について ③天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について ④2018 年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座について ⑤学位規程等の改正について ⑥在籍者数（2018 年 5 月 1 日現在）について ⑦2019 年の卒業証書・学位記授与式・入学式の日程について ⑧キャンパス整備プロジェクトの実施に伴う対応について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 3 回 6 月 12 日 (火) 16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2019 年度看護栄養学研究科学生募集要項について ②2018 年度非常勤講師の取消について <p>2. 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2018 年度栄養管理学専攻博士前期課程学位論文研究計画書について ②2019 年度栄養管理学専攻学位論文中間発表会の開催について ③8 号館 2 階院生学習室の先行工事について <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 4 回 7 月 10 日 (火) 16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ①老年看護 CNS コース増設（追加）に伴う大学院看護栄養学研究科学則並びに履修規程の一部改正について ②2018 年度非常勤講師の委嘱について <p>2. 報告事項</p>

	①2018 年度特別研究費の採択について ②先行工事のスケジュール及び引越等について 3. 意見聴取事項 なし
第 5 回 9 月 11 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2018 年度非常勤講師の委嘱について ②2018 年度特別講師の委嘱について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
臨時 9 月 26 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2019 年度看護栄養学研究科看護学専攻保健師コース推薦入学試験の合否判定について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第 6 回 10 月 9 日 (火) 16:35	1. 審議事項 ①緊急連絡網の作成及び運用について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
臨時 10 月 24 日 (火) 17:15	1. 審議事項 ①2019 年度一般入学試験（前期）の合否判定について ②2018 年度学位論文関連スケジュールについて ③2018 年度長期履修学生期間変更申請の許可について ④2020 年度入学試験日程について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第 7 回 11 月 13 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2018 年度学位論文提出予定者の主査及び副査について ②2019 年度老年看護 CNS コース学生募集要項について 2. 報告事項 なし 3. 意見聴取事項 なし
第 8 回 12 月 11 日 (火) 16:30	1. 審議事項 ①2018 年度学位論文提出予定者の主査及び副査について ②2018 年度学位論文発表会（保健師コース）の開催について ③大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について ④大学院看護栄養学研究科履修規程の一部改正について ⑤2019 年度学事暦（案）について ⑥2019 年度非常勤講師の委嘱について ⑦2020 年度入学式日程等について 2. 報告事項

	<p>①2018 年度看護学専攻 F D 研修会について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 9 回</p> <p>1 月 15 日 (火)</p> <p>16:00</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について</p> <p>②大学院看護栄養学研究科における単位互換に関する規程の制定について</p> <p>③2019 年度専任教員の新規担当科目について</p> <p>④2019 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度栄養管理学専攻 F D 研修会について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>1 月 30 日 (水)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019 年度一般入学試験 (後期) の合否判定について</p> <p>②2018 年度学位論文発表会 (ホスピス緩和ケア看護学コース、博士前期課程) の開催について</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 10 回</p> <p>2 月 12 日 (火)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2019 年度看護栄養学研究科看護学専攻老年看護 C N S コース入学試験について</p> <p>②2019 年度非常勤講師の委嘱および訂正について</p> <p>③2019 年度特別講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項 なし</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>臨時</p> <p>2 月 26 日 (火)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①2018 年度修了判定について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①2018 年度看護栄養学研究科学位論文審査報告書について</p> <p>3. 意見聴取事項 なし</p>
<p>第 11 回</p> <p>3 月 6 日 (水)</p> <p>16:30</p>	<p>1. 審議事項</p> <p>①看護学専攻老年看護 C N S コース入学試験の合否判定について</p> <p>②2019 年度長期履修学生申請の許可について</p> <p>③2019 年度看護学専攻専任教員の新規担当科目について</p> <p>④2019 年度非常勤講師の委嘱について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>①看護栄養学研究科看護学専攻老年看護 C N S コースの認定について</p> <p>②教員の退職について</p> <p>3. 意見聴取事項</p> <p>①大学院看護栄養学研究科学則の一部改正について</p>

12. 委員会構成一覽

2018年度校務分掌 委員会一覽

2018.7.1現在

教育研究評議会	学長、副学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長、助産研究科教務委員長
---------	--

【看護栄養学部関係】

◎看護学科長:吉田礼維子 ◎栄養学科長:山口敦子 ◎教養教育科長:川口雄一

学部教授会	学長、副学長、看護学科:吉田(礼)・菅原・中田・蝦名・小澤(芳)・新谷・山本、栄養学科:山口・進藤・菊池・山部、教養教育科:川口・鹿内・堀井・田島
-------	---

区分	委員会名	委員長	委員	人数	任期	事務局
常設委員会	教務委員会	川口	教務部長:川口、看護学科長、栄養学科長、(教養教育科長)、教職課程委員長、看護:木津、栄養:吉田(真)、教養:小原	8	2年	学務課
	学生委員会	鹿内	学生部長:鹿内、看護:柴田・田中(さ)、栄養:岩淵・長谷川、教養:日時	6	2年	学務課
	宗務委員会	スレイマン	宗務部長、司祭:スレイマン、看護:重岡・田中(裕)、栄養:金澤・高桑、教養:堀井、助産:三浦、事務局:菊池	9	2年	学務課
	図書情報委員会	高木	図書館長:高木、看護:小澤(涼)、伊織、栄養:清水・志賀、教養:日時、助産:三浦、図書情報課長	8	2年	図書情報課
	入試委員会	山本	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:大野、栄養:金澤、教養:(川口)、入試・広報室長	7	2年	入試広報室
	広報委員会	菅原	看護:菅原・伊藤・若山、栄養:峯岸・松下、教養:田島、入試・広報室長	7	2年	入試広報室
	自己点検評価委員会	山部	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:高木、栄養:山部、教養:(川口)、助産:本宿、事務局長	10	2年	総務課
	FD委員会	中田	看護:中田・針金、栄養:岡部、教養:鹿内、助産:津田、副学長:高木	6	2年	総務課
	学術振興委員会	堀井	看護:高橋、栄養:西、教養:堀井、助産:本宿	4	2年	図書情報課
	地域連携等委員会	小澤(芳)	看護:小澤(芳)・小澤(涼)、栄養:長谷川、教養:小原、助産:今崎	5	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護:前田、栄養:清水・岡部、教養:新井	4	2年	学務課
	教職課程委員会	新井	教職科目担当:山部、鹿内、新井、岩淵、松下	5	2年	学務課
	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長、看護栄養学研究科長、学長指名:新谷・鈴木、堀井、岩間、〔学外:小野滋男、久々湊晴夫〕	8	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント対策委員会	蝦名	学生部長、看護:蝦名、栄養:山部、教養:田島、助産:本宿、事務局長、職員:平野	7	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	菊池	専門:菊池・岩淵、感染予防:武藏、学校医:西村	4	2年	財務室
国際交流委員会	学長	学長、教務部長、学生部長、栄養:志賀、看護:臺野、教養:川口、看栄研:鈴木、助産:津田、事務局長、学長指名:看護 高木	9	2年	総務課	
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護:、栄養:、教養:、助産:	5	2年	学務課
時限	カリキュラム検討委員会	武藏	学長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長(教務部長)、事務局次長:梅村、学長指名:看護 高木・菅原・大野、栄養 吉田(真)、教養 日時	10	2年	学務課

名 称	構 成 員
看護:学生支援教員	1年:○木津、小澤(芳)、柴田、高橋、新関、伊織、田中(裕)、福田 2年:○伊藤、中田、秋山、横山、中洞、小島 3年:○臺野、山本、針金、前田、若山、河嶋 4年:○佐々木、蝦名、大野、小澤(涼)、田中(さ)、重岡
栄養:学生支援教員	1年:○岡部、山部、西、長谷川、金 2年:○岩淵、菊池、金澤、高桑、金野 3年:○清水、進藤、鈴木、竹中 4年:○峯岸、志賀、吉田(真)、松下、丁 ※ ○はリーダー(看護・栄養共通)

名 称	リーダー	構 成 員
ヘルスケア実践開発プロジェクト	山口	看護:菅原・佐々木 栄養:山口・長谷川・高桑 助産:今崎

名 称	構 成 員
後援会講演ワーキング	看護:蝦名・秋山、栄養:山部・岩淵、教養:小原 事務局:総務課

【大学院看護栄養学研究科関係】

◎研究科長:進藤正信 ◎看護学専攻主任:新谷恵子 ◎栄養管理学専攻主任:鈴木純子
--

研究科委員会	研究科長、看護学専攻主任、栄養管理学専攻主任、看護学専攻:菅原、中田、蝦名、小澤(芳)、吉田(礼)、山本、高木、伊藤、大野、柴田、針金、小澤(涼)、佐々木、前田、若山、栄養管理学専攻:武藏、菊池、山口、山部、志賀、清水、西、岩淵、松下
--------	---

【大学院助産研究科関係】

◎研究科長:本宿美砂子

助産研究科教授会	学長、研究科長、近藤、今崎、津田、臨床専任教員:山本、高室、宮下
----------	----------------------------------

区分	委員会名	委員長	委 員
委員会等	研究科会議	研究科長	研究科教員
	教務委員会	本宿	(講義基礎)(学生・就職)今崎、(講義教育)本宿、(実習)津田三浦、村上、須貝、勝山
	入試広報委員会	今崎	本宿、今崎、津田

【理事会関係】

区分	委員会名	委員長	委 員	人数	任期	事務局
常設機関	運営連絡会	理事長	学長、副理事長(2名)、常務理事(総務担当理事)、財務担当理事、参与、カトリックセンター長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、宗務部長、監事:土産田、学内評議員:菅原、山口、高木、岩間	15	1年	総務課
	将来構想委員会	理事長	学長、副理事長(2名)、総務担当理事、財務担当理事、参与、宗務部長、図書館長、研究科長(2名)、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長、理事長指名:松岡理事、本間理事、梅村次長、不動次長	19	1年	総務課
	中期計画検討小委員会	学長	学長、図書館長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、看護:柴田、栄養:清水、教養:目時、事務局長、梅村次長、不動次長	10	1年	総務課
	苦情処理委員会	互選	理事長指名: 理事3名、教職員2名、学外者1名	6		総務課
	懲戒委員会	理事長指名		5		総務課
	ハラスメント防止委員会	互選	理事:小川、本間、松岡、菅原 教員:本宿、堀井 職員:不動	7	2年	総務課
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、常務理事、理事(理事会選出)菅原、事務局長	5	1年	総務課
	衛生委員会	学長	産業医:中村、衛生管理者:不動、保健師:亀田、看護:若山、栄養:山部、教養:田島、事務局:豊島	7	2年	財務室

名 称	センター長	構 成 員	人数	任期	事務局
カトリックセンター	近藤	センター長:近藤、司祭:スレイマン、常務理事:小川、宗教教育担当教員:小原	4 (3)	2年	学務課

13. 委員会の活動報告

2018年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：川口 雄一 委員：吉田 礼維子、木津 由美子、山口 敦子、吉田 真弓、新井 英志、 小原 琢</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>12回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師の委嘱等について ・特別講師の委嘱等について ・実習指導教員の委嘱等について ・学事暦（案）について ・新入生オリエンテーション(案)について ・定期試験・評価日程について ・定期試験・追試験・再試験監督要領について ・定期試験問題作成・管理について ・時間割編成のガイドライン・編成条件について ・既修得単位の認定・単位の授与について ・栄養学科3年生実習科目の履修判定について ・看護学科2・3年生実習科目の履修判定について ・教職課程修了判定について ・卒業判定について ・休学前に履修していた通年科目の継続履修について ・科目等履修生の受け入れについて ・授業料未納に伴う除籍について ・追実習願の可否について ・天使大学非常勤講師等に関する申合せの一部改正について ・GPA及びCAP制の規定化に伴う履修規程の一部改正について ・履修規程の一部改正について ・臨時試験の取扱いに関する履修要項の修正について ・授業概要の作成について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師等の委嘱手続きについて ・定期試験問題作成・管理について ・研究生の受入れ終了について ・新入生（履修）ガイダンス等について ・北海道胆振東部地震に伴う授業の休講について 	

2018年度 学生委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：鹿内 信善 委員：柴田 和恵、田中 さおり、岩淵 絵里子、長谷川 めぐみ 目時 光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度 役割分担について ・2018年度 学生部長不在時の代理について ・2018年度 合唱コンクールについて ・2018年度 天使祭について ・2018年度 海外研修について ・2018年度 葦の会役員と学生委員会の交流会について ・2018年度 葦の会役員 リーダー研修会について ・2019年度 活動計画書について ・2019年度 予算について ・2018年度 年報（学生委員会）について ・「2017年度 学生生活についての調査報告書」について ・2019年度 アssenブリー・アワー（学生委員会担当プログラム）について ・2019年度 学校医（内科医・精神神経科医）の委嘱について ・学生の懲戒に関する規程について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度 クッキングライブの実施報告について ・2018年度 オフィスアワーについて ・2018年度 学生総会の実施報告について ・2018年度 葦の会役員、部活動、クラス委員について ・2017年度 海外研修旅行実施報告について ・アssenブリー・アワー実施報告について ・ボランティア活動保険について ・2018年度 体育祭について ・キャンパス整備にあたっての学生への影響について ・葦の会役員選挙の進捗状況について ・2018年度 萌芽の進捗状況について ・2019年度 葦の会役員の役職について ・保健相談室報告 ・学生相談室報告 	

2018年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：ケン・スレイマン 委員：重岡 妙、田中 裕子、金澤 康子、高桑 暁子、堀井 泰明、 三浦 恵津子、菊池 史恵</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宗務行事・ミサの実施について <ul style="list-style-type: none"> イースターの集い 死者追悼のミサ クリスマス点灯式・クリスマスキャロルの放送 クリスマスの集い 新年のミサ 灰の儀式（灰の水曜日） 退職する教職員のための感謝ミサ 修了・卒業感謝のミサ 毎週のミサ ・ 委員長不在時の委員長代理について ・ チャペルアワーについて ・ 教職員修養会について ・ 自己点検評価について ・ カトリック医療関連学生セミナーについて ・ 2019年度アッセンブリー・アワー予定表について ・ 2019年度宗務委員会活動計画・予算について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動計画及び予算内訳見積書について ・ 宗務行事・ミサの実施報告について ・ 学生修養会について ・ チャペルアワーについて ・ 教職員修養会について 	

2018年度 図書館情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：高木 廣文 委員：小澤 涼子、伊織 光恵、清水 真理、志賀 一希、目時 光紀、 三浦 恵津子、平野 敦子
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> ・ 後援会助成図書第1回～第9回選定について ・ 前回議事録の確認 ・ 2018年度図書館及び情報処理室の活動計画及び予算について ・ 2018年度図書資料費予算配分について ・ 夏期休暇に伴う長期貸出について ・ 情報処理室サーバー・ネットワーク等の更新及び日程について ・ 院生学習室(8号館2階)設置の製本洋雑誌の除籍について ・ キノコレ活用の見直しについて ・ 新規購読雑誌について(案) ・ 加除式資料の購読見直し ・ 他大学・短期大学等発行紀要の保存年限等について ・ 情報処理室での飲食に対する制限の一部緩和と厳格な運用について ・ 第2回委員会資料7に関する各学科・科・研究科の報告及び意見を受けて ・ 情報処理室における飲食問題への対応について ・ 情報処理室の利用状況について ・ 2019年外国雑誌の継続購読について ・ エルゼビア社からの二提案について ・ メールシステムのGmail移行について ・ メールシステムの切り替えについて ・ 共有ディレクトリに関する案 ・ 共有フォルダの構築に向けて ・ メールシステム切り替えに伴う規程・ガイドラインの改正及び改訂案について ・ 2018年度後期開館予定(案)について ・ 2019年度図書館開館予定：前期(案) ・ 他大学・短期大学等発行紀要の保存年限等について ・ 2018年度除籍候補図書、除籍候補雑誌、除籍候補視聴覚(カセット及びスライド)：各科検討用 ・ 和雑誌の2019年度継続購読について ・ データベースの2019年度継続利用について ・ 2019年度図書館及び情報処理室活動計画(案)について ・ 2019年度図書館及び情報処理室予算(案)について 	

- ・新棟におけるラーニング・コモンズおよび図書館について
- ・「情報システム管理運用及び利用に関する規程」改正及び「学内ネットワークサービス利用ガイドライン」改訂の進め方について
- ・2018年度自己点検・評価報告：図書館及び情報処理システム

[主な報告事項]

- ・2017年度図書資料費執行状況（結果報告）
- ・2018年度図書資料費執行状況
- ・後期からのGmail使用について
- ・情報処理室の利用状況について（報告）
- ・「情報システム管理運用及び利用に関する規程」の改正や「学内ネットワークサービス利用ガイドライン」の改訂について
- ・共有フォルダの構築について

2018年度 入試委員会活動報告

委員会組織	委員長：山本 勝則 委員：吉田 礼維子、山口 敦子、川口 雄一、大野 和美、金澤 康子、鈴木 敏郎
委員会開催数	12回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集要項（学部・指定校推薦入学試験）について ・ 入学試験出題者について ・ 広報資料「天使大学入学試験に関する情報開示」について ・ 2019年度 入学試験出題者（一般、推薦・社会人）について ・ 2019年度 入学試験問題作成委員会（一般、推薦・社会人）について ・ 合否判定書類について ・ 入試制度改正について ・ 2019年度 看護栄養学部 外国人留学生入学試験要項について ・ 東日本大震災および熊本地震に被災した受験者への対応について ・ 平成30年7月豪雨により被災した受験者への対応について ・ webサイト「入試Q&A」の掲載について ・ 2019年度 公募制推薦・社会人入学試験の小論文試験問題について ・ 2020年度 入学試験日程について ・ 2019年度 推薦入学試験、社会人入学試験について ・ 入学手続要項（案）について ・ 2021年度 入学者選抜（案）について ・ 2019年度 推薦入学試験、社会人入学試験 合否判定について ・ 2019年度 推薦入学試験、社会人入学試験の点検評価について ・ 2019年度 入試委員会 活動計画について ・ 2019年度 入試委員会予算について ・ 入試委員長代理について ・ 合否判定入試委員会について ・ 2019年度 一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験について ・ 入試に関する「不測の事態」等の危機管理体制について ・ 追加合格決定のプロセスについて ・ 2019年度 一般入学試験学科試験 得点調整について ・ 2019年度 一般入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について ・ 2019年度 大学入試センター試験利用入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について ・ 2019年度 年報（入試委員会関係部分）について 	

[主な報告事項]

- ・ 2018 年度 入試委員会 活動計画について
- ・ 2018 年度 入試委員会予算について
- ・ 2018 年度 入試問題の著作権処理について
- ・ 2018 年 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会について
- ・ 2019 年度 入学試験日程について
- ・ 監督者人選に伴う事前確認等について
- ・ 「2019 年度 入学試験における感染症（インフルエンザ等）への対応」の web を通した告知について
- ・ 2018 年度 入試委員会活動計画（修正）について
- ・ 2019 年度 入試問題作成委員会日程について
- ・ 出張報告（平成 30 年度大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会）
- ・ 2019 年度 一般入学試験問題 事前・事後チェックの業務委託契約書について
- ・ 2019 年度 大学入試センター試験監督者の調整依頼について
- ・ 北海道胆振東部地震等に被災した受験者への対応について
- ・ 2019 年度 大学入試センター試験全体説明会・リスニングテスト予行演習の日程について
- ・ 2019 年度 大学入試センター試験について
- ・ 一般入試・センター利用入試時の昼食について
- ・ 受験上の配慮を必要とする入学志願者について
- ・ 北海道胆振東部地震等に被災した入学志願者への検定料免除について

2018年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原 邦子 委員：伊藤 治幸、若山 好美、峯岸 夕紀子、松下 真美、田島 忠篤、鈴木敏郎</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度高校訪問について ・2018年度出張講義（大学訪問も含む）について ・進学相談会・校内ガイダンスについて ・教職員への広報活動協力要請について ・2018年度広報活動のための学内勉強会について ・2018年度オープンキャンパスについて ・オープンキャンパス入試対策講座講師及び一般入試「傾向と対策」の製作について ・2018年度前期学報の進捗について ・2018年度大学院看護栄養学研究科の広報計画について ・大学案内改訂について ・不織布バッグについて ・2018年度新規事業 在学生による高校訪問について ・第1回オープンキャンパスの振り返り ・第2回オープンキャンパスについて ・2020年度入学生向け大学案内製作について ・第3回オープンキャンパスについて ・第3回オープンキャンパスの評価 ・2019年度オープンキャンパス日程及び実施体制（継続審議） ・学報「天使」vol.26号案について ・DM及びリーフレットについて ・2020年度入学生向け大学案内（2019年6月発行）について ・2021年度入学生向け大学案内（2020年6月発行）について ・2019年度オープンキャンパスについて ・2021年度大学案内の制作について ・第2回オープンキャンパスの振り返り ・2020年度大学案内の制作について ・相談会担当について ・2019年度活動計画及び予算について 	

[主な報告事項]

- ・ 2019 年度大学案内（2018 年 6 月発行）進捗について
- ・ 2018 年度活動計画・予算の確認
- ・ ホームページリニューアルの進捗状況について
- ・ 新入生アンケートについて
- ・ 学報の保護者宛て送付について
- ・ 北星学園女子高等学校 高大連携プログラムについて
- ・ 広報活動協力不可学生について
- ・ 看護 4 年向け本学大学院説明会実施報告
- ・ 2018 年度広報活動のための学内勉強会実施報告
- ・ 2018 年度事務職員のための高校訪問説明会
- ・ 学報 25 号進捗状況報告
- ・ 大学案内校了報告
- ・ 大学ホームページリニューアルについて
- ・ 「札幌市地下歩行空間における大学案内資料配布会」の実施について
- ・ 看護栄養学研究科増設コース分の大学案内について
- ・ 2018 年度新規事業 在学生による高校訪問について
- ・ 学内向け大学院説明会実施報告
- ・ 広報活動状況報告
- ・ 新入生アンケートの結果について
- ・ 大学基準協会認証評価について
- ・ 日本看護系大学基準協会への本学ホームページ登録について
- ・ 2019 年度予算について
- ・ 私大協道支部入試研究協議会について
- ・ クリスマスカードの配布について
- ・ 教員業績一覧について
- ・ 栄養学科テレビ取材について
- ・ 大学案内・ホームページの就職支援に関する広報について（就職委員会）
- ・ 学報「天使」Vol. 26 進捗状況
- ・ 年報について

2018年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山部 秀子 委員：進藤 正信、本宿 美砂子、吉田 礼維子、山口 敦子、川口 雄一、高木 廣文、岩間 久哉</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>6回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度点検評価報告書及び提出書類について ・実地調査の日程について ・10月18日・19日の大学基準協会実地調査対応について ・大学評価（認証評価）結果（分科会案）の質問に対する回答について ・実地調査を受けての課題について ・2019年度活動計画及び予算について ・2018年度活動報告会及び年報作成について ・内部質保証についての講演会について ・自己点検評価委員会の規程について ・大学基準協会大学評価結果について ・2018年度活動報告会の日程について ・内部質保証に関する講演会日程について ・自己点検評価委員会の規程について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度予算について ・実地調査スケジュール及び面談参加者について ・認証評価実地調査時の各面談の報告について 	

2018年度 FD委員会活動報告

委員会組織	委員長：中田かおり 委員：高木廣文、針金佳代子、岡部哲子、鹿内信善、津田万寿美
委員会開催数	6回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教員間の授業参観の試行について ・ 2018年度のFD研修会について ・ 学生による授業評価アンケートの自由記載ならびに結果全体に対するコメントへの質問対応について ・ 2018年度のFD研修会について ・ 2018年度第1回FD研修会について ・ 2018年度第2回FD研修会の開催日時について ・ 2019年度第1回FD研修会について ・ 2019年度以降の教員間の授業参観の実施方法について ・ 2019年度活動計画及び予算案について ・ 2018年度第2回FD研修会について ・ 2019年度のFD研修会について ・ 2018年度年報用資料について ・ 2018年度授業評価アンケート報告書の作成について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年度活動計画および予算について ・ 学生による授業評価アンケートの実施について ・ 2018年度前期学生による授業評価アンケートの今後の予定について ・ 第1回FD研修会の参加者数とアンケート結果について ・ 北海道FD・SD協議会2019年北海道FD・SDフォーラム実行委員について ・ 学生による授業評価アンケートの自由記載ならびに結果全体に対するコメントへの質問対応について ・ 後期授業アンケートの今後の予定について ・ 北海道地区FD・SD推進協議会2019北海道FD・SDフォーラム実行委員会の会議報告について 	

2018年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井 泰明 委員：高橋 順子、西 隆司、本宿 美砂子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年度年報：自己点検・評価報告「IV. 研究活動・研究環境」について ・2018年度学術振興委員会活動計画について ・2018年度学術振興委員会予算書について ・第1回～第5回学術振興委員会議事録の確認 ・研究に関する「よろず相談」の広報ポスターについて ・本年度科研費獲得のための講習会について ・「天使大学紀要」投稿規程改正案について ・「天使大学紀要」投稿規程第2条第4項の内規について ・初心者向け科研費獲得のための講習会について ・中級者向け科研費獲得のための講習会について ・紀要第19巻第2号への投稿1件について ・2018年度年報：自己点検・評価報告「IV. 研究活動・研究環境」について（案）：第4回と第5回 ・2019年度活動計画（案）・予算（案）について：第4回と第5回 ・2018年度特別研究費による研究報告会について：第4回と第5回 <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紀要第18巻第2号の発刊について ・紀要第19巻第1号への投稿状況について ・紀要第19巻第2号の原稿募集ポスターについて ・事務担当者のための『科研費新制度 傾向と対策』セミナーについて ・天使大学紀要第19巻第1号投稿者及び査読者一覧 ・『事務担当者のための科研費制度 傾向と対策セミナー』出張報告 ・天使大学紀要第19巻第1号の査読状況 ・天使大学異教第19巻第2号について：第4回と第5回 	

2018年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：小澤 芳子 委員：小澤 涼子・長谷川 めぐみ・小原 琢・今崎 裕子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度地域連携等委員会役割分担について ・2018年度委員長不在時の委員長代理について ・2018年度地域連携事業活動の把握と報告書について ・2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座実施計画について ・2018年度ひがしく健康・スポーツまつり実施計画について ・第16回東区健康づくりフェスティバル講話内容について ・2018年度北海道科学大学との連携事業「夕張地域医療体験」実施要項について ・2019年度活動計画書および予算見積内訳書について ・2019年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座の実施について ・2018年度年報 自己点検・評価報告書について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天使大学と北海道科学大学との教育・研究等に関する包括連携協定書について ・2018年度活動計画書および予算見積内訳書について ・2018年度区役所と天使大学との年間連携事業について ・2018年度東区5者連携事業について ・2018年度天使大学・北海道科学大学連携公開講座実施報告について ・2018年度「ひがしく健康・スポーツまつり」実施報告について ・第16回東区健康づくりフェスティバル実施報告について ・2018年度「夕張地域医療体験」実施報告について 	

2018年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水 真理 委員：前田 朝子、岡部 哲子、新井 英志</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長不在時の委員長代理について ・役割分担について ・2018・2019年度就職活動支援（就職ガイダンス・セミナー等）の実施について ・就職相談室ニュース第1～3号の発行について ・求人開拓パンフレット「採用ご担当者の皆様へ」の発行について ・「就職活動と就職支援に関する調査」について ・2017年度卒業・修了生の就職状況調査について ・就職活動ガイドブック2019年度版の発行について ・自己点検評価について ・2019年度活動計画・予算について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動計画及び予算内訳見積書について ・就職内定状況・就職活動支援状況等の報告について ・就職ガイダンス・セミナー報告について ・学内企業説明会報告について ・求人訪問対応報告について ・出張関係について ・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について ・教員採用試験対策春期ゼミの開催及び出席状況について ・学校インターンシップの実施状況について ・2017年度「就職活動と就職支援に関する調査」の結果について ・2017年度就職先への礼状発送について ・2017年度卒業・修了生の就職状況調査送付及び調査結果について ・就職相談室資料整理のためのアルバイトの雇用について ・病院・施設等への求人依頼の発送について ・就職活動ガイドブック2019年度版の校正について 	

2018年度 教職課程委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：新井 英志 委員：鹿内 信善、山部 秀子、岩渕 絵里子、松下 真美</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職課程再課程認定申請について ・非常勤講師および特別講師の委嘱について ・教員免許状更新講習の開設について ・科目等履修生（教職課程）の受入れについて ・2018年度教職課程修了判定 ・2019年度栄養教育実習履修判定 ・2019年度授業科目の担当者について ・2019年度活動計画書および予算について ・2019年度教職課程履修の手引について ・2019年度新入生オリエンテーションについて ・履修カルテの様式変更について ・シラバス記入上の留意点について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年度活動計画書および予算について ・2018年度教職課程履修者数および教職課程履修取消届について ・2018年度ホームページの更新について ・2018年度インターンシップについて ・2019年度非常勤講師および特別講師について ・教員採用試験結果について ・教員採用選考検査のための対策ゼミについて ・平成31年度教育実習に係る説明会について ・教職課程夏期・春期ゼミナールについて ・北大生のためのお米料理クッキングについて ・栄養学科3年生の面接の実施予定について 	

2018年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井 泰明 委員：本宿 美砂子、進藤 正信、新谷 恵子、鈴木 純子、岩間 久哉、 小野 滋男（学外委員）、久々湊 晴夫（学外委員）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について ・研究計画の倫理審査（審査件数 27 件） ・2019 年度予算について ・2019 年度活動計画について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について ・倫理審査終了後の研究計画等の変更届について ・栄養学科の卒業研究の進め方に関わるチェックリストの内容一部変更について 	

2018年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：蝦名 美智子 委員：鹿内 信善、山部 秀子、田島 忠篤、本宿 美砂子、 岩間 久哉、平野 敦子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>2回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長代理の選任について ・講演会の開催について ・2019年度活動計画書及び予算について ・2019年度アッセンブリアワーの日程について <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天使大学キャンパス・ハラスメントの防止等に関する規程について ・ガイドラインについて ・2018年度相談窓口の周知について ・2018年度予算について ・2018年度開催講演会の参加者等について 	

2018年度 国際交流委員会活動報告

委員会組織	委員長：武蔵 学 委員：高木 廣文、川口 雄一、鹿内 信善、志賀 一希、墓野 美奈子、 鈴木 純子、津田 万寿美、岩間 久哉
委員会開催数	7回
審議・報告事項	
[主な審議事項] <ul style="list-style-type: none"> ・日・韓カトリック看護系大学による協議会への対応について ・2018 韓国カトリック大学校 韓国語韓国文化研修について ・ASEACCU 2018 年度国際会議への出席について ・日・韓カトリック看護系大学による協議会への対応に係る経費等の処理について ・ASEACCU 2018 年度国際会議への出席者について ・韓国カトリック大学校との具体的な連携内容の検討について ・学内で実施される国際交流に関する情報の集約と学内外への発信方法について ・ASEACCU への加盟について ・ASEACCU への加盟後の具体的な活動内容について ・2019 年度活動計画及び予算案について ・ASEACCU2019 年度国際会議への出席者について ・2018 年度年報用資料について [主な報告事項] <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流委員会の構成員について ・2018 年度活動計画及び予算について ・国際交流委員会委員長補佐の指名について ・「第3回フランシスコ・ボランティアキャンプ 2018in 台湾」について ・ASEACCU 加盟手続きの進捗状況について 	

2018年度 カリキュラム検討委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：武蔵 学 委員：高木 廣文、吉田 礼維子、山口 敦子、川口 雄一、菅原 邦子、 吉田 真弓、目時 光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>12回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマポリシー（DP）と4つのレベル案 ・カリキュラムポリシーの作成について ・臨地実習の配置について ・カリキュラムマップについて DP-2、DP6、DP7と科目配置 ・カリキュラムマップと指定規則 ・教養教育科の科目配置 ー特にDP1とDP2 ・カリキュラムポリシーの策定方について ・カリキュラムポリシーと教育課程編成と内容、教育方法、教育評価 ・アセスメントポリシーについて ・教養教育科の科目名称の変更、基礎学習演習について ・2022年からの保助看法改正とカリキュラム ・栄養学科のEarly Exposure ・GPAとCAP制導入について ・看護・栄養合同科目について ・多職種連携とキャリアデザイン ・教養教育科目の卒業要件・単位数 ・DP1における科目配置について ・カリキュラムポリシーの策定方についてー科目群の設定について ・DP6の新たな科目と開講時期 ・栄養学科の多職種連携について ・カリキュラムポリシーについて ・カリキュラムマップとカリキュラムツリーの示し方について ・新アドミッションポリシーについて ・教育評価の内容要素について ・新カリ申請作業の確認 	

14. 図書館利用状況

2018年度入館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計	5,125	5,630	7,361	7,492	4,156	5,313	7,635	6,165	4,568	5,385	2,949	1,948	63,727

2018年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	856	1,623	1,944	1,273	1,141	1,684	2,334	1,508	892	495	270	108	14,128
栄養学科	275	489	1,048	564	223	278	628	433	319	96	143	18	4,514
助産研究科	209	118	128	36	68	64	201	80	37	36	41	51	1,069
看護栄養学 研究科	167	287	177	142	67	96	113	62	96	49	72	62	1,390
科目等履修生・研究生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	163	252	202	163	183	108	272	193	178	185	143	108	2,150
学外者	51	34	40	24	35	16	67	34	25	34	18	14	392
合計	1,721	2,803	3,539	2,202	1,717	2,246	3,615	2,310	1,547	895	687	361	23,643

15. 情報処理室の利用状況

年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	796	1,979	2,787	2,596	8,158	642	2,065	4,995	2,147	9,849	18,007
4301室(夜間)	178	524	675	875	2,252	167	188	678	382	1,415	3,667
4302室(日中)	3,464	1,534	2,658	1,491	9,147	3,622	1,714	3,915	2,180	11,431	20,578
4302室(夜間)	702	486	642	959	2,789	1,256	281	689	402	2,628	5,417
総計	5,140	4,523	6,762	5,921	22,346	5,687	4,248	10,277	5,111	25,323	47,669

月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	604	201	684	691	2,180	612	223	945	532	2,312	4,492
5	509	415	898	915	2,737	700	125	1,632	720	3,177	5,914
6	653	307	1,217	832	3,009	631	77	1,408	617	2,733	5,742
7	593	289	459	690	2,031	862	371	764	512	2,509	4,540
8	22	460	402	210	1,094	17	3	185	224	429	1,523
9	232	302	689	449	1,672	488	176	1,380	399	2,443	4,115
10	1,038	718	837	852	3,445	785	335	1,250	616	2,986	6,431
11	895	865	433	885	3,078	740	929	887	754	3,310	6,388
12	493	533	489	343	1,858	578	963	1,001	442	2,984	4,842
1	97	397	460	10	964	246	996	399	129	1,770	2,734
2	3	32	84	23	142	22	42	253	130	447	589
3	1	4	110	21	136	6	8	173	36	223	359
総計	5,140	4,523	6,762	5,921	22,346	5,687	4,248	10,277	5,111	25,323	47,669

16. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：m²)

	本学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差(基準外を除く)
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(m ²)	備考
1号館	1976(S51)	40	937.76	2階建
2号館	1995(H7)	21	707.43	2階建(耐震構造)
3号館	1963(S38)	53	1,977.01	3階建(耐震補強済)
4号館	1971(S46)	45	2,429.06	3階建(耐震補強済)
5号館	1980(S55)	36	396.27	2階建
6号館	2000(H12)	16	2,674.91	6階建(耐震構造)
7号館	2002(H14)	14	2,330.13	4階建(耐震構造)
8号館	2004(H7)	12	1,855.69	4階建(耐震構造)
体育館	1976(S51)	40	736.52	
中沼グランド更衣室	1992(H4)	24	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(m ²)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当り面積(m ²)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	735	2.01	看護栄養学研究科と共用
	演習室	13	402	共用	245	786	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	735	0.38	
看護栄養学研究科	講義室	/	/	/	/	/	/	
	学生学習室	2	370	共用	92	17	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	51	34	4.45	
	学生学習室	1	344	共用	82	51	3.96	看護栄養学研究科と共用
体育館		1	737	/	/	/	/	
講堂		1	737	/	/	/	/	

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m ²)	1人当り面積(m ²)
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	250	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
	第1臨床栄養実習室	15	45	3.00
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,470	3.32

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積(m ²)	収容人数(総数)	収容人員1人当りの面積(m ²)	使用研究科等	備考
実習室	17	2,227	624	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	18	2,401	664	3.37	—	—

17. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	自己資金は充実されているか	純資産構成比率	△	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	74.4	83.8
2		繰越収支差額構成比率	△	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	△8.3	△12.7
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	88.4	97.5
4		積立率	△	$\frac{\text{運用資産}}{\text{基本金要組入額}}$	116.3	82.4
5	長期資金で固定資産は賅われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	100.9	98.1
6		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	83.7	89.8
7	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	75.1	82.2
8		有形固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	42.7	66.1
9		特定資産構成比率	△	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	31.5	14.4
10		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	24.8	17.7
11		減価償却比率（図書を除く）	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	60.2	50.0
12	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	30.3	13.1
13		運用資産余裕比率（単位：年）	△	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	1.9	0.2
14		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	241.5	210.9
15		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	262.0	343.0
16		退職給与引当特定資産保有率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.0	28.9
17	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	15.2	7.7
18		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	10.2	8.4
19		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	25.5	16.1
20		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	34.3	19.2

(注1) 「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2) 「他法人」は収容定員500～1000名の保健系学部を有する全国13法人の2017年度決算額の平均。

事業活動収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△12.0	0.1
2		経常収支差額比率	△	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△4.3	1.2
3		教育活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△4.6	1.1
4	収入構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	81.0	35.4
5		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	1.4	3.1
6		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	13.6	6.3
7	支出構成は適切であるか	人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	66.5	51.9
8		教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	32.0	38.5
9		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.8	8.1
10		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.1
11		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	17.2	6.8
12		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	6.0	6.0
13	収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	82.1	146.8
14		基本金組入後収支比率	▼	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}}$	135.3	96.9

活動区分資金収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	本学園	他法人
1	経営状況はどうか	事業活動収支差額比率	△	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	△0.2	11.1

2019年度 自己点検評価委員会

委員長：進藤 正信（看護栄養学研究科長）

委員：本宿 美砂子（助産研究科長）

吉田 礼維子（看護学科長）

山口 敦子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

高木 廣文（看護学科）

菅原 邦子（看護学科）

山部 秀子（栄養学科）

岩間 久哉（事務局長）

総務課：上村 俊哉

2018年度

天使大学 看護栄養学部
天使大学大学院 看護栄養学研究科

年 報
—自己点検・評価報告書—

2019年7月完成
自己点検評価委員会

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<https://www.tenshi.ac.jp>
